

柏市健康増進計画 中間評価報告書（案）

平成30年 月

【 目 次 】

第 1 章 柏市健康増進計画の概要	1
1 計画の位置付け	1
2 計画の概要	2
第 2 章 中間評価の趣旨	3
1 中間評価の目的	3
2 中間評価の方法	3
第 3 章 中間評価の結果	4
1 健康目標値の達成状況	4
2 分野別の評価と今後の取り組み	5
栄養・食生活	5
運動・身体活動	10
休養・こころの健康	15
喫煙	19
飲酒	24
歯・口腔の健康	28
糖尿病	33
循環器疾患	38
がん	44
第 4 章 計画の推進体制	48
1 各推進主体に期待される役割	48
2 相互連携の体制整備、取り組み	50

～資料編～

- ◆ 健康目標値一覧（改定）
- ◆ 健康目標値達成状況一覧

第1章 柏市健康増進計画の概要

1 計画の位置付け

柏市健康増進計画は、「健康増進法」及び「国民健康づくり対策」の趣旨に沿い、市民の健康増進施策の更なる積極的な推進を図るため、健康増進分野に特化した計画として、平成25年4月に策定されました。

計画期間は平成25年度から平成34年度までの10年間とし、中間年となる平成29年度に中間評価を実施することになっています。

本計画は、市の最上位計画である「柏市総合計画」との整合性を図った分野別計画として策定され、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むための指針となるものであるとともに、個人の健康づくりを地域・行政・学校・企業などが一体となり、社会全体で支援していくための諸活動の指針となるものです。

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
柏市総合計画	第四次総合計画 (H13~H27)			第五次総合計画 (H28~H37)									
柏市健康増進計画	柏市健康増進計画の開始			柏市民健康意識調査	中間評価計画修正				最終評価にむけた検討 柏市民健康意識調査	次期計画の策定	次期計画の開始		
健康日本21 (第二次)	健康日本21 (第二次)の開始				中間評価					健康日本21 (第二次)の終了			
健康ちば21 (第二次)	健康ちば21 (第二次)の開始				中間評価					健康ちば21 (第二次)の終了			

2 計画の概要

本計画の方向性，基本目標，重点分野，ライフステージ区分については以下のとおりです。

<方向性>

まちを構成する行政・地域・企業等の全ての組織及び全ての市民が連携・協働し，生涯健康で元気に暮らせる社会形成を目指す

<基本目標>

1. 健康寿命の延伸
2. 生活習慣病の発症予防及び重症化予防の徹底

<重点分野>

1. 栄養・食生活
2. 身体活動・運動
3. 休養・こころの健康
4. 喫煙
5. 飲酒
6. 歯・口腔の健康
7. 糖尿病
8. 循環器疾患
9. がん

<ライフステージ区分>

ライフステージ区分	区分年齢
乳幼児期	概ね 0～5歳
学童期	概ね 6～12歳
思春期	概ね 13～19歳
成年期	概ね 20～39歳
壮年期	概ね 40～64歳
高齢期	概ね 65歳～

第2章 中間評価の趣旨

1 中間評価の目的

本計画の中間評価の目的は、計画の中間時点での目標達成状況を把握し、これまでの計画の進捗状況や施策の課題を明確化することで、今後5年間の施策の一層の推進を図るために実施するものです。

2 中間評価の方法

各目標値の中間時点での達成状況については、平成28年10月に柏市民健康意識調査を実施し、市民の健康状況等の現状を把握するとともに、各種統計データや事業の実績データを基に、平成25年の計画策定時のベースライン値と現時点での直近値（現状値）を比較し、評価を行いました。

計画に定めた数値目標は、計画期間内における取り組みにより、どのくらい進捗が図れたのかを示すため、次のとおり目標達成率を算出し、判定基準により5段階で評価を示しています。

$$\text{目標達成率(\%)} = \frac{(\text{中間評価時の値}) - (\text{策定時の値})}{(\text{目標値}) - (\text{策定時の値})} \times 100$$

判定区分	判定基準
◎	目標値を達成している
○	目標値を達成していないが、策定時より改善している →達成率50%以上
△	策定時より改善傾向及び横ばい状況にある →達成率49%～0%
×	策定時より悪化している
—	判定できない

第3章 中間評価の結果

1 健康目標値の達成状況

本計画の健康目標（9分野・138項目）について、現状値を計画策定時のベースライン値と比較し、進捗状況を確認しました。

現時点で目標値を達成している指標は15項目（10.9%）、達成率50%以上の14項目（10.1%）をあわせても29項目（21.0%）にとどまっています。一方で悪化した指標は43項目（31.2%）となり、分野ごとに傾向に偏りがみられています。

なお、ベースライン値が設定されていなかったなどの理由から20項目については判定できませんでした。

	目標値達成 (◎)	改善あり (○)	改善傾向または横ばい (△)	悪化 (×)	判定不可	計
栄養・食生活	1	2	7	4	0	14
身体活動・運動	0	0	3	1	4	8
休養・こころの健康	3	1	1	3	0	8
喫煙	3	8	15	3	7	36
飲酒	0	1	2	6	7	16
歯・口腔の健康	3	2	2	3	2	12
糖尿病	1	0	4	10	0	15
循環器疾患	4	0	10	9	0	23
がん	0	0	2	4	0	6
計	15	14	46	43	20	138
	10.9%	10.1%	33.3%	31.2%	14.5%	100.0%

《健康寿命の推移》

健康寿命は、ベースライン値に比べて、男性はやや上昇していますが、女性はやや低下の傾向が見られます。健康寿命は本計画の最終的なアウトカムとして、最終評価で達成度を確認していきます。

指標		ベースライン (H22年度)	現状値 (H27年度)	目標値
健康寿命	男性	79.40歳	79.91歳	平均寿命の増加 分を上回る健康 寿命の増加
	女性	83.67歳	83.52歳	

～データソース～

健康寿命の算定方法の指針（平成24年度厚生労働科学研究費補助金による「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」）により算定

2 分野別の評価と今後の取り組み

【栄養・食生活】

～ 目指すまちの姿 ～

バランスのとれた食事を規則正しくとる，
「健康的な食習慣の定着」に取り組むまち

(1) 健康目標値の達成状況

目標値に向けて順調に推移している指標は少なく，一方で策定時より悪化した指標が見られています。また，悪化はしていないものの十分に改善されていない項目が多く，目標値の達成に向けて，更なる努力が必要です。

全 14 指標 ◎：1 指標 ○：2 指標 △：7 指標 ×：4 指標

<課題 1> 適正体重を維持するための知識の普及

指標		ベースライン (H23 年度)	現状値 (H28 年度)	目標値	評価	データ ソース
成人女性のやせの割合（20歳代）		27.4%	21.5%	20%以下	○	A
成人男性の肥満の割合		23.1%	26.2%	20%以下	×	A
児童・生徒の肥満の割合	小学生	6.2%	6.9%	4%以下	×	B
	中学生	7.8%	7.2%	5%以下	△	B
体重の変化を気にしている人の割合	成人男性	54.7%	61.8%	80%以上	△	A
	成人女性	67.1%	70.7%	80%以上	△	A

<課題 2> 野菜の摂取量の増加

指標		ベースライン (H23 年度)	現状値 (H28 年度)	目標値	評価	データ ソース
緑黄色野菜を毎日2回以上食べる人の割合（成人）		17.1%	17.6%	20%以上	△	A
緑黄色野菜をほとんど食べない人の割合	20歳代	12.7%	19.2%	10%以下	×	A
	30歳代	7.2%	10.2%	5%以下	×	A
淡色野菜を毎日2回以上食べる人の割合（成人）		21.9%	23.0%	30%以上	△	A

〈課題3〉 朝食を意識した、バランスのよい食生活の普及

指標		ベースライン (H23年度)	現状値 (H28年度)	目標値	評価	データ ソース
朝食の欠食率	20歳代	19.9%	18.3%	15%以下	△	A
	30歳代	15.6%	14.2%	15%以下	◎	A
食事のバランスの よい人の割合（成人）	朝食	48.4%	53.6%	60%以上	△	A
	昼食	55.6%	63.3%	65%以上	○	A

～データソース（現状値）～

A：柏市民健康意識調査（平成28年10月）

B：児童生徒定期健康診断結果（平成28年度）

(2) 指標の動きとこれまでの取り組み

〈主な取り組み〉

- ・給食施設指導事業（巡回指導、集団指導）
- ・学校給食提供事業
- ・栄養改善事業（健康ちば協力店登録推進、栄養関係団体育成、低栄養改善訪問指導等）
- ・健康づくり相談
- ・特定保健指導
- ・食の安全、安心対策推進事業
- ・母子保健食育
- ・クッキング保育
- ・中央公民館講座（食育講座）
- ・フレイル予防事業

- ◆ 児童・生徒の肥満の状況について、中学生の肥満の割合はやや改善がみられたものの、小学生の肥満の割合は悪化しています。

学校においては、栄養教諭・学校栄養職員と養護教諭が連携し、健康な生活習慣を習得するための食育の授業実施や学校給食を発信源とした保護者への栄養に係る啓発に取り組んでいます。今後も家庭・地域・学校等が連携し、適正体重の維持、健康的な食習慣の確立に向け、更なる取り組みの推進が必要です。

- ◆ 食に関する知識や関心を高めるため、食育講座やイベント等での啓発をはじめ、乳幼児を持つ保護者に対しては、離乳食教室や幼児健診等の母子保健事業や保育園での食育等を通し、家族ぐるみで健康的な食生活を実践できるような働きかけを行っています。また、学校や事業所等の給食施設へ指導を行い、給食を通して正しい食習慣を身につけられるよう、適正体重の維持や野菜摂取、減塩に関する啓発資料の活用を促すなどの働きかけを行っています。

指標では、20～30代の朝食欠食率や食事のバランス（成人）に改善傾向は見られているものの、20～30代の野菜の摂取状況は悪化しており、成人男性の肥満の割合も増加しています。これまでの取り組みでは働く世代の食習慣の改善にはつながりにくいことが考えられます。

(3) 指標・目標値の見直し

中間評価において、次のとおり指標の見直しを行います。

《 目標値を変更する指標 》

指標		変更前	変更後	変更理由
児童・生徒の肥満の割合	小学生	4%以下	減少	平成28年3月に策定した柏市母子保健計画との整合を図るため
	中学生	5%以下	減少	

(4) 今後の主な取り組み

- ◆ 子どもの頃からの健康的な食習慣の確立に向け、母子保健事業での啓発や保育園、幼稚園、学校等における食育の推進強化を図ります。栄養士が配属される複数の課で構成される子ども健康プロジェクトでは、より若い世代に活用されるよう、学校給食クックパッドに保育園給食及び離乳食を掲載します。
- ◆ 20～30代の野菜不足や成人男性の肥満割合増加への対策として、この年代は外食利用者が多いことから、市内飲食店での野菜を使ったヘルシーメニューの提供などの食環境整備を推進します。
- ◆ 働く世代への働きかけとして、給食施設に対する栄養管理指導の充実及び利用者への啓発、地域・職域連携推進協議会等を活用した職場における健康づくりの普及啓発や事業連携等の推進を図ります。

また、健康目標の達成に向け、各事業において今後の取り組みを次のとおり推進します。実施にあたっては関係機関、関係団体等と連携し、適切な役割分担のもとに効果的な推進体制の構築を図ります。

《 推進に係る主な事業 》

事業名 【担当部署】	主なライフ ステージ	事業概要	主な連携機関 【関係機関、団体等】
		目標達成に向けた今後の主な取り組み	
給食施設指導 事業 【地域健康づくり課】	全年代	<p>学校・事業所等の給食施設での適切な栄養管理のため、個別巡回指導・集団指導(研修等)を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 肥満、やせの割合の増加がある施設を把握し、改善に向けた助言指導を実施。 ・ 食品構成、野菜摂取量の聞き取りを行い、適切な野菜摂取量が確保できるよう助言指導を実施。 ・ 利用者に健康づくりのための情報提供ができるよう、啓発媒体を作成し配布。 	柏市保健所管内 集団給食研究会

事業名 【担当部署】	主なライフ ステージ	事業概要	
		目標達成に向けた今後の主な取り組み	
栄養改善事業 【地域健康づくり課】	全年代	関係団体等と連携し、市民の食生活改善に向けた環境整備を推進する。	柏市保健所管内調理師会 柏市保健所管内集団給食研究会 柏市医師会 病院栄養士協議会（柏地区）
		<ul style="list-style-type: none"> ・「野菜を食べよう柏協力店」の認証を開始する。 ・20～30代の市民を対象とした料理教室「柏シェフ'Sキッチン」を、調理師会への委託事業として開始する。 	
母子保健食育 【地域健康づくり課】	乳幼児期 成人期	母子保健事業を通して、家族全体の健康的な食習慣の実践に向けた啓発を実施。	柏市民健康づくり推進員
		<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健事業全般を通し、家族全体の健康的な食習慣の実践に向けた啓発を引き続き実施する。 ・子育て世代が情報を手に入れやすいツール（電子親子手帳やホームページ等）を活用し、妊娠期から乳幼児の食生活に関する情報提供を実施する。 ・子ども健康プロジェクトの一環として、学校給食クックパッドを活用した取り組みを、他課（学校保健課、保育運営課）と連携し実施する。 	
学校給食提供事業 (小学校・中学校) 【学校保健課】	学童期 思春期	給食を通し、健康な生活習慣を習得するための食育を実施。	学校歯科医
		<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭、学校栄養職員と養護教諭が連携し、給食を通じた適正な食事のとり方の意識づけや、望ましい食生活について、児童・生徒、保護者に伝えていく。 ・歯科医と連携し、「よく噛んで食べるとよいこと」の授業展開拡大を図る。 	
クッキング保育 【保育運営課】	乳幼児期	野菜等の栽培から収穫までの体験、クッキングを通し、園児の食への興味関心を高める。	
		クッキング保育を通し、園児の食への興味関心を高めるとともに、給食だよりやレシピ紹介など、家庭での健康的な食習慣の知識の普及につながる取り組みを継続実施する。	
フレイル予防事業 【福祉活動推進課】	壮年期 高齢期	主に高齢者に対するフレイル(介護予防)事業のうち、栄養をテーマとしたプログラムについて管理栄養士等による講座を実施。	東葛北部在宅栄養士会、地域包括支援センター等
		地域包括支援センター主催の教室や出前講座での実施等、市内全域での展開を図る。	
柏市国民健康保険 特定保健指導 【保険年金課】	壮年期 高齢期	特定健診の結果より、メタボリックシンドロームのリスクのある対象者を抽出し、6か月間の生活習慣改善のための保健指導を実施。	柏市医師会 JA（ちば東葛、東葛ふたば、いちかわ） 千葉県厚生農業共同組合連合会
		<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導の実施率向上に向け、通知や電話等での利用勧奨を進める。 ・対象者が主体的に生活習慣の改善に取り組めるよう、保健指導の質の向上を図る。 	

《 ライフステージ別の健康目標と取り組み 》

- 【健康課題】
- 適正体重を維持するための知識の普及
 - 野菜の摂取量の増加
 - 朝食を意識した、バランスのよい食生活の普及

	乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期
健康目標		児童、生徒の肥満の割合の減少				
				成人女性のやせの割合の減少（20歳代）		
				成人男性の肥満の割合の減少		
				体重の変化を気にしている人の割合の増加（成人）		
				緑黄色野菜を毎日2回以上食べる人の割合の増加（成人）		
				緑黄色野菜をほとんど食べない20歳代、30歳代の割合の減少		
				淡色野菜を毎日2回以上食べる人の割合の増加（成人）		
				20歳代、30歳代の朝食欠食率の減少		
				食事のバランスのよい人の割合の増加（成人）		
推進に係る関連事業	給食施設指導事業					
	栄養改善事業（野菜を食べよう柏協力店・健康ちば協力店登録推進、柏シェフ'Sキッチン等）					
	啓発活動（イベントでの啓発、出前講座、地域職域連携推進事業、中央公民館講座等）					
	母子保健食育			母子保健食育		
	クッキング保育					
	子ども健康プロジェクト					
		学校給食提供事業				
					特定保健指導・健康づくり相談（柏市国民健康保険）	
					フレイル予防事業	
			食の安全・安心対策推進事業			

【身体活動・運動】

～目指すまちな姿～

自分の体力にあわせて楽しく運動を続けられるまち

(1) 健康目標値の達成状況

運動習慣者の割合は，男女ともにあまり改善がみられておらず，歩行時間についても目標値には届いていない状況です。目標値に向けて順調に推移している項目がなく，更なる努力が必要です。

全8指標 ◎:0指標 ○:0指標 △:3指標 ×:1指標 —:4指標

<課題1> 運動習慣の定着

指標		ベースライン (H23年度)	現状値 (H28年度)	目標値	評価	データ ソース
運動習慣者の割合※	成人全体	46.4%	46.8%	60%	△	A
	成人男性	49.2%	50.0%	60%	△	A
	成人女性	44.2%	44.1%	60%	×	A
20～59歳のほとんど運動していない人の割合		53.8%	52.8%	40%	△	A

※運動習慣者：1回30分以上の運動を，週1回以上実施し，1年以上継続している人

<課題2> 身体活動・運動に取り組みやすい環境づくり

指標		ベースライン (H23年度)	現状値 (H28年度)	目標値	評価	データ ソース
1日の歩行時間	成人全体	—	83.2分	100分	—	A
	成人男性	—	78.7分	100分	—	A
	成人女性	—	86.1分	100分	—	A
地域活動やボランティア活動への参加意識		60.2%	—	80%	—	—

～データソース(現状値)～

A：柏市民健康意識調査（平成28年10月）

(2) 指標の動きとこれまでの取り組み

《主な取り組み》

- ・各種スポーツ教室、講習会、スポーツ関連イベントの開催
- ・スポーツ推進委員活動
- ・地域ウォーク、地域運動講座（柏市民健康づくり推進員によるウォーキングや運動講座、手賀沼ふれあいウォーク開催、ウォーキングパスポート配布、）
- ・学校体育の促進関連事業
- ・幼児教育の推進（運動遊び）
- ・フレイル予防事業
- ・中央公民館講座（いきいき健康ライフ講座）

- ◆ スポーツ関連団体や柏市体育協会等と連携してスポーツ教室・講習会・スポーツ関連イベント等を開催し、参加者数は増加傾向にあります。また、スポーツ推進委員によるニュースポーツのイベントや柏市民健康づくり推進員によるウォーキング講座などを開催し、運動するきっかけづくりを進めてきました。

しかし、運動習慣者の割合が男女ともにほとんど増加しておらず、特に20～59歳のほとんど運動していない人の割合が依然として高いことから、これまでの取り組みだけでは働く世代に対する効果は低いと考えられます。

- ◆ 1日の歩行時間の平均は83.2分ですが、柏市民健康意識調査では3割以上が歩行時間60分未満となっており、特に働く世代の歩行時間が少ない傾向がみられます。運動していない理由として「時間がない」が最も多いことから、日常生活において活動量を増やすための意識づけが重要と考えられます。
- ◆ 介護予防としてロコモ予防教室を開催し、教室終了後も市民が自主的に活動を継続できるような支援を実施してきました。今後はフレイル予防としてより多面的なアプローチを市民、関係団体等との連携のもとに引き続き展開し、高齢者の社会参加の機会の増加、身体活動量の増加、心身の健康づくりを推進していくことが必要です。

(3) 指標・目標値の見直し

中間評価において、次のとおり指標の見直しを行います。

《削除する指標》

指標	削除理由
地域活動やボランティア活動への参加意識	ベースライン値のデータソースとなる「柏市民意識調査」が平成28年度より「柏市まちづくり推進のための調査」となり本指標の設問が削除されたため

《追加する指標》

指標	現状値 (H28年度)	目標値 (H34年度)	追加理由
地域活動やボランティア活動への参加状況【60歳以上】	36.6%	増加	<ul style="list-style-type: none"> ・削除した指標に代わり「柏市まちづくり推進のための調査」より、設定するもの。 ・なお本指標では、高齢者の社会参加及び身体活動量の増加に視点をおいていることから、対象を「60歳以上」とする。

(4) 今後の主な取り組み

- ◆ 20～50代の運動習慣者が少ないことから、スポーツイベント等での親子参加の促進や、柏市民健康づくり推進員と連携し子育て中の保護者に向けた簡単にできる運動・ストレッチ等の情報発信に取り組みます。また、地域・職域連携推進協議会等を活用した職場における健康づくりの普及啓発、事業連携等の推進を図ります。
- ◆ 日常生活での活動量を増やすには歩数を意識することが効果的であり、ウォーキングパスポートの利用促進等を図っていきます。
- ◆ 子どもから高齢者まで、目的や健康状態に合わせた運動指導が受けられる体制整備を推進します。

また、健康目標の達成に向け、各事業において今後の取り組みを次のとおり推進します。実施にあたっては関係機関、関係団体等と連携し、適切な役割分担のもとに効果的な推進体制の構築を図ります。

《推進に係る主な事業》

事業名 【担当部署】	主なライフ ステージ	事業概要	主な連携機関 【関係機関、団体等】
		目標達成に向けた今後の主な取り組み	
各種スポーツ教室 の開催 【協働推進課】	学童期 思春期 成年期 壮年期 高齢期	ホームタウンチームと連携し、幅広い年齢層を対象に各種スポーツ教室を開催。スポーツの参加機会を増進し、スポーツを活かしたまちづくりを推進する。	J R東日本野球部 J X-E N E O S サンフ ラワーズ Y B C 柏 積水化学女子陸上競技部
		東京オリンピック・パラリンピックに向け、ホームタウンチームと連携した各種スポーツ教室を引き続き実施。	
スポーツ推進委員活動 【スポーツ課】	全年代	地域スポーツの推進を図る。	柏市スポーツ推進委員協議会
		<ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校等を拠点にニュースポーツイベント等を継続実施し、市民がスポーツをするきっかけづくりを進める。 ・活動の充実に向け、推進委員の増員を図る。 	

事業名 【担当部署】	主なライフ ステージ	事業概要		主な連携機関 【関係機関、団体等】
		目標達成に向けた今後の主な取り組み		
スポーツ教室・ 講習会 新春マラソン・ 手賀沼エコマラソン 【スポーツ課】	全年代 (内容による)	スポーツ関連団体や柏市体育協会等と連携し、スポーツ教室、講習会、マラソン大会等のスポーツ関連イベントを実施。市民のスポーツ参加の促進を図る。	柏市体育協会 柏市スポーツ推進委員協議会	
		市民がスポーツに親しむことができる場の提供増加を図る。 ・スポーツ体験イベント「スポーツドリーム柏」の開催 ・手賀沼エコマラソンの市民参加枠の増加 ・新春マラソンの親子参加の促進		
地域ウォーク・ 地域運動講座 【地域健康づくり課】	学童期 思春期 成年期 壮年期 高齢期 (内容による)	・市民が体を動かすきっかけづくりとして、柏市民健康づくり推進員による地域ウォーキング講座、地域運動講座を実施。 ・手賀沼ふれあいウォークの開催。 ・ウォーキングパスポートの配布。	柏市民健康づくり推進員 千葉県ウォーキング協会 市民ウォーキング団体 我孫子市	
		・柏市民健康づくり推進員と連携し、子育て中の保護者に向けた手軽にできる運動・ストレッチ等の情報発信を推進する。 ・手賀沼ふれあいウォークでは親子参加や初参加者の増加につながるよう、内容や周知方法の工夫を行う。 ・ウォーキングパスポートの利用促進を図り、日常生活で歩くこと、体を動かすことへの意識づけにつながる取り組みを推進する。		
幼児教育の推進 (運動遊び) 【教育研究所】	乳幼児期	幼児の健やかな成長を目指し、園児の運動能力の現状を把握し、各園での運動遊びや環境設定の工夫、家庭への啓発を実施。	市内全幼稚園 市内全保育園	
		市内の全幼稚園・全保育園での実践を継続する。		
学校体育の促進 関連事業 【指導課】	学童期 思春期	・新体力テスト結果に基づく児童生徒の体力向上の取り組みの推進 ・小学校や特別支援学校を中心に体育の授業支援の実施 ・中学校に運動部活動指導者を派遣	千葉県小中学校体育連盟柏支部	
		事業のより効果的な運用を図る。		
フレイル予防 事業（ロコモフ ィットかしわ） 【福祉活動推進課】	壮年期 高齢期	ロコモティブシンドローム予防のための講義、運動指導を実施。講座終了後も、参加者が主体的に予防に取り組めるよう自主活動の育成及び継続支援を行う。	柏市在宅リハビリテーション連絡会、柏市地域包括支援センター、東京大学高齢者総合研究機構	
		ロコモ予防の必要性の高い地域における事業実施及び自主化支援を継続する。		
フレイル予防 事業 【福祉活動推進課】	壮年期 高齢期	主に高齢者に対するフレイル（介護予防）事業のうち、身体活動をテーマとしたプログラムについて、リハビリテーション専門職、運動トレーナー等が講座を実施。	柏市在宅リハビリテーション連絡会 柏市地域包括支援センター 柏市社会福祉協議会	
		地域包括支援センター主催の教室や出前講座での実施等、市内全域での展開を図る。		

《 ライフステージ別の健康目標と取り組み 》

- 【健康課題】 ●運動習慣の定着
●身体活動・運動に取り組みやすい環境づくり

	乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期
健康目標				運動習慣者の割合の増加（成人）		
				20～59歳のほとんど運動していない人の割合の減少		
				1日の歩行時間の増加（成人）		
						地域活動やボランティア活動への参加状況【60歳以上】
推進に係る関連事業	スポーツ推進委員活動					
	啓発活動（イベントでの啓発，出前講座，地域職域連携推進事業，中央公民館講座等）					
		ホームタウンチームと連携した各種スポーツ教室の開催				
		地域ウォーク・地域運動講座 （地域ウォーキング講座・地域運動講座，手賀沼ふれあいウォーク，ウォーキングバスポート配布）				
	スポーツ教室・講習会					
				新春マラソン・手賀沼エコマラソン		
	幼児教育の推進（運動あそび）					
		学校体育の促進関連事業				
					フレイル予防事業	
		運動のできる環境整備（学校体育施設開放，総合型地域スポーツクラブの育成，スポーツ施設予約システム 等）				
	スポーツ団体への補助金の交付					

【休養・こころの健康】

～ 目指すまちの姿 ～

こころの健康を保ち，すっきりした気持ちで
明日を迎えられるまち

(1) 健康目標値の達成状況

ストレスを感じた人の割合は減少し，自殺者数の減少については目標値を達成しているなど改善が見られている指標が半数以上を占めますが，男女ともに睡眠による休養が十分にとれていない人の割合は悪化しており，目標値の達成に向けて更なる努力が必要です。

全 8 指標 ◎:3 指標 ○:1 指標 △:1 指標 ×:3 指標

<課題 1> 睡眠等による十分な休養の確保

指標		ベースライン (H23年度)	現状値 (H28年度)	目標値	評価	データ ソース
睡眠による休養を十分にとれていない人の割合	成人全体	49.7%	54.8%	40%以下	×	A
	成人男性	47.4%	52.8%	40%以下	×	A
	成人女性	51.8%	56.8%	40%以下	×	A

<課題 2> 上手なストレス解消

指標		ベースライン (H23年度)	現状値 (H28年度)	目標値	評価	データ ソース
ストレスを感じた人の割合	成人全体	77.2%	71.2%	70%以下	○	A
	成人男性	71.1%	63.6%	70%以下	◎	A
	成人女性	82.4%	77.5%	70%以下	△	A

<課題 3> 自殺予防対策

指標		ベースライン (H22年度)	現状値 (H27年度)	目標値	評価	データ ソース
自殺者数	人数	70人	68人	減少	◎	B
	人口10万人 当たり	17.3	16.4	減少	◎	B

～ データソース(現状値)～

A: 柏市民健康意識調査(平成28年10月)

B: 平成27年千葉県衛生統計年報

(2) 指標の動きとこれまでの取り組み

《主な取り組み》

- ・こころの健康に関する相談、支援（専門職による面談、訪問、電話相談）
- ・こころの健康や精神疾患に関する普及啓発活動（出前講座、市民講座等）
- ・自殺予防対策連絡会議の実施 ・ブックスタート事業
- ・地域子育て支援拠点事業（乳幼児の保護者交流促進、相談支援）
- ・中央公民館講座（家庭教育講演会、いきいきセミナー等）

- ◆ こころの健康に関する相談支援や出前講座・市民講座等による啓発を継続的に実施しました。ストレスを感じた人の割合には減少が見られていますが、一方で睡眠による休養を十分にとれていない人の割合は男女ともに増加しており、特に 20～50 代の就労、子育て世代でその割合が高くなっています。ライフステージや性別に合わせた働きかけの工夫や相談場所の充実等が必要と考えられます。
- ◆ 自殺者数の減少は全国的な傾向ですが、依然として主要死因のひとつであることから、自殺予防対策連携会議を開催して関係団体との連携を推進するとともに、自殺対策関係部署による庁内連絡会議を通して情報共有を図り、全庁的に引き続き取り組むことが必要です。

(3) 今後の主な取り組み

- ◆ 睡眠による休養を十分にとれていない人の割合や、いつもストレスを感じている人の割合は 20～50 代で高く、ストレスの原因として最も多い理由が「仕事」であることから、地域・職域連携推進協議会等を活用した職場におけるメンタルヘルス対策の推進、相談窓口情報のわかりやすい発信や関係機関と連携した相談体制の充実を図ります。
- ◆ 子育ての主な担い手である 30 代女性において、睡眠による休養を十分にとれていない人の割合や、いつもストレスを感じている人の割合が高くなっています。ストレスの原因として「家族の問題・育児・教育」が多いことから、育児不安の軽減や子育て中の親子の孤立防止に向け、地域子育て支援拠点の開設を進めるとともに、利用者支援事業の充実を図ります。
- ◆ 柏市妊娠子育て相談センターを設置し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うことで、安心して子育てができる相談支援体制の充実を図ります。
- ◆ 柏市の自殺の状況を踏まえ、自殺予防対策連絡会議を開催するとともに、「普及啓発」「相談事業」「人材育成」「心の健康づくり」「医療連携」「遺族支援」を柱とした対策を、関係機関と連携して引き続き推進します。

また、健康目標の達成に向け、各事業において今後の取り組みを次のとおり推進します。実施にあたっては関係機関、関係団体等と連携し、適切な役割分担のもとに効果的な推進体制の構築を図ります。

《 推進に係る主な事業 》

事業名 【担当部署】	主なライフ ステージ	事業概要	
		目標達成に向けた今後の主な取り組み	
		主な連携機関 【関係機関、団体等】	
こころの病気の啓発・普及活動 【保健予防課】	思春期 成年期 壮年期 高齢期	出前講座や市民講座を実施し、こころの健康に関する普及啓発や精神疾患に関する正しい知識の普及啓発を実施。	
		より多くの市民の参加につながるよう周知の強化を図る。	
本人・家族の相談・訪問支援等 【保健予防課】	思春期 成年期 壮年期 高齢期	精神嘱託医や保健所職員による、こころの健康に関する相談。	
		迅速かつ安全な対応を目指し、関係機関との調整を図る。	
地域子育て支援拠点事業 【子育て支援課】 【保育運営課】	乳幼児期 成年期	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助等を行い、子育て中の親子の孤立防止や育児不安の減少を図る。	
		子育て支援拠点の開設を進めるとともに、利用者支援事業の充実を図っていく。	
リスクを抱えた妊産婦及び家庭への支援 【地域健康づくり課】	乳幼児期 成年期 壮年期	主に精神的な疾患によるリスクを抱えた妊産婦及び家庭を早期に把握し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施する。	
		妊娠届出時や新生児訪問等でのアセスメントツールの活用により、産後うつ等の早期支援、関係機関連携による適切な支援の実施を図る。	
ブックスタート事業 【子育て支援課】 【図書館】 【地域健康づくり課】	乳幼児期 成年期 壮年期 高齢期	市民ボランティアが1歳6か月健診の受診親子に、絵本を通じた親子のふれあいやことばかけ、保護者の心安らぐ時間を持つことが、子どもの豊かな心を育むことを伝えている。	
		関係課及び連携機関で事業のよりよいあり方に向けた協議を進める。	
不登校児童生徒の支援事業 【生徒指導室】	学童期 思春期	小中学校で不登校状態の児童生徒を対象に行う支援事業。本人の自立を促すとともに、学校復帰を目指すため、学習支援や訪問活動を実施。	
		スクールソーシャルワーカーと学校との連携強化を図り、相談体制を確立していく。	
自殺予防対策事業 【保健福祉総務課】	全年代	自殺予防対策連絡会議を開催し、関係機関との情報共有を図り自殺者数の減少を図る。	
		柏市における自殺の状況等を考慮し、自殺予防対策連絡会議及び庁内連絡会議での議論を経て、柏市の特性に合わせた施策を引き続き実施する。	
千葉県地域自殺対策強化事業費補助金事業 【保健福祉総務課】	全年代	「普及啓発」「相談事業」「人材育成」「心の健康づくり」「医療連携」「遺族支援」の各事業を柱とした対策の実施	
		各事業の推進に加え、若年層向けの対策を強化する。	

◀ ライフステージ別の健康目標と取り組み ▶

- 【健康課題】
- 睡眠等による十分な休養の確保
 - 上手なストレス解消
 - 自殺予防対策

	乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期
健康目標				睡眠による休養を十分にとれていない人の割合の減少（成人）		
				ストレスを感じた人の割合の減少（成人）		
		自殺者数の減少				
推進に係る 関連事業			こころの病気の啓発・普及活動			
			本人・家族の相談・訪問支援等			
			啓発活動（イベントでの啓発，出前講座，地域職域連携推進事業，中央公民館講座等）			
	リスクを抱えた妊産婦及び家庭への支援		リスクを抱えた妊産婦及び家庭への支援			
	ブックスタート事業			ブックスタート事業		
	地域子育て支援拠点事業			地域子育て支援拠点事業		
		不登校児童生徒の支援事業				
	自殺予防対策事業 / 千葉県自殺対策強化事業費補助金事業					

【喫煙】

～ 目指すまちな姿 ～

喫煙や受動喫煙による健康被害を防止するまち

(1) 健康目標値の達成状況

成人女性の喫煙率が上昇しているものの、禁煙達成率は目標値を達成しており、多くの指標で改善傾向が見られます。しかし飲食店や職場等での受動喫煙の割合が高いことや少数ながらも児童・生徒や妊婦の喫煙見られることなど、目標値の達成に向けて更なる努力が必要です。

全 36 指標 ◎:3 指標 ○:8 指標 △:15 指標 ×:3 指標 —:7 指標

<課題 1> 喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する知識の普及

指標		ベースライン (H23年度)	現状値 (H28年度)	目標値	評価	データ ソース	
喫煙率	成人全体	16.3%	14.0%	12%以下	○	A	
	成人男性	27.2%	22.0%	20%以下	○	A	
	成人女性	6.5%	7.5%	5%以下	×	A	
	妊婦	本人	2.9%	1.4%	0%	○	B
		まわりの 家族等※	38.3%	41.1%	27%以下	×	B
喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する知識をもつ成人の割合	がん	90.2%	90.8%	100%	△	A	
	喘息	78.0%	89.0%		○	A	
	気管支炎	79.5%	88.9%		△	A	
	COPD（慢性閉塞性肺疾患）	47.9%	63.3%		△	A	
	心臓病，心筋梗塞	62.7%	72.9%		△	A	
	脳卒中，脳梗塞	58.6%	69.4%		△	A	
	胃潰瘍	37.1%	43.7%		△	A	
	将来の不妊	43.5%	51.6%		△	A	
	不妊，異常妊娠，低体重児出生	57.1%	64.0%		△	A	
	歯周病，むし歯	33.2%	45.0%		△	A	
	SIDS（乳幼児突然死症候群）	29.5%	38.6%		△	A	
	子どもの身長及び知能の成長	46.6%	53.7%		△	A	

※ ベースライン値の算出方法を修正

<課題2> 受動喫煙の防止

指標		ベースライン (H23年度)	現状値 (H28年度)	目標値	評価	データ ソース
受動喫煙の機会を 有する人の割合	行政機関	0%	7.9%	維持	×	A
	医療機関	—	3.1%	0%	—	A
	職場	—	30.1%	減少	—	A
	家庭	—	15.7%	3%	—	A
	飲食店	—	56.5%	15%	—	A

<課題3> 禁煙の支援

指標		ベースライン (H23年度)	現状値 (H28年度)	目標値	評価	データ ソース
禁煙達成率	成人全体	21.5%	29.0%	27%以上	◎	A
	成人男性	33.7%	46.6%	42%以上	◎	A
	成人女性	10.8%	14.5%	14%以上	◎	A
	妊婦※	84.9%	88.1%	100%	△	B
成人の禁煙外来における保険 適用に関する認知率		38.0%	48.3%	100%	△	A

※ ベースライン値を修正

<課題4> 未成年者の喫煙防止

指標		ベースライン (H23年度)	現状値 (H29年度)	目標値	評価	データ ソース
喫煙経験率	小学生(6年生)	2.5%	0.8%	0%	○	C
	中学生(3年生)	7.1%	1.5%	0%	○	C
	高校生(3年生)	—	3.0% (H28年度)	0%	—	D
喫煙願望率	小学生(6年生)	3.8%	1.9%	0%	○	C
	中学生(3年生)	5.6%	2.2%	0%	○	C
	高校生(3年生)	—	3.1% (H28年度)	0%	—	D
周囲で喫煙する 大人の存在率	小学生(6年生)	64.0%	62.8%	48%以下	△	C
	中学生(3年生)	64.7%	58.1%	48%以下	△	C
	高校生(3年生)	—	51.0% (H28年度)	減少	—	D

～データソース(現状値)～

A: 柏市民健康意識調査(平成28年10月)

B: 平成28年度妊娠届出書

C: 柏市小中学生へのタバコに関するアンケート調査(平成29年7月)

D: 柏市健康増進計画に関するアンケート調査(平成28年9月)

(2) 指標の動きとこれまでの取り組み

《主な取り組み》

- ・ノースモッ子作戦協議会
- ・小中学校への出張講座
- ・「禁煙分煙ありがとう店」登録制度
- ・「たばこの煙困りましたカード」設置

- ◆ 禁煙達成率や喫煙率の改善については、健康増進法に基づく受動喫煙対策の推進等の全国的な社会環境の変化による影響が大きいと考えられますが、市内禁煙外来医療機関の増加や禁煙支援薬局の設置等の禁煙を支援する市内の環境整備が進んだことも要因のひとつと考えられます。しかし、成人女性の喫煙率は上昇しており、少数ながらも妊婦の喫煙が依然として見られていることなどから、母子保健事業等を通じたタバコの害に関する啓発や禁煙支援の充実に、引き続き取り組む必要があります。
- ◆ 小・中学生の喫煙経験率、喫煙願望率に改善傾向がみられているのは、ノースモッ子作戦として、小中学校における防煙教育等の関係団体と連携した取り組みの成果と考えられます。
- ◆ 受動喫煙について、柏市の公共施設では全面敷地内禁煙となっています。ポスター掲示等で利用者への周知を行っていますが、行政機関において受動喫煙の機会を有する人がいることから、各公共施設における全面敷地内禁煙の徹底を図ることが必要です。また、職場、飲食店、家庭における受動喫煙防止に向け、職域と連携した取り組みや、家庭での受動喫煙防止に関する普及啓発の推進が必要です。

(3) 指標・目標値の見直し

中間評価において、次のとおり指標の見直しを行います。

《ベースライン値を変更する指標》

指標	変更前	変更後	変更理由
喫煙率【妊婦】	2.9%	1.3% (H27年度)	平成28年3月に策定した柏市母子保健計画との整合を図るもの。 ※変更後データソース「健やか親子21(第2次)に基づくアンケート調査」
喫煙率【妊婦のまわりの家族等】	36.9%	38.3%	ベースライン値の算出方法を修正するもの
禁煙達成率【妊婦】	16.2%	84.9%	

《目標値を変更する指標》

指標	変更前	変更後	変更理由
受動喫煙の機会を有する人の割合【行政機関】	維持	0%	現状値を踏まえて変更するもの

(4) 今後の主な取り組み

- ◆ 女性の喫煙率は特に 20～40 代で高くなっていることから，年代にあわせた啓発媒体を作成し，母子保健事業や保育園・幼稚園・学校等の関係機関と連携した啓発強化に取り組みます。
- ◆ 禁煙希望者への支援として，禁煙マップを作成し市内の禁煙外来医療機関及び禁煙支援薬局の周知を推進します。
- ◆ ノースモツ子作戦として，引き続き学校での防煙教育を関係機関と連携し推進します。
- ◆ 「禁煙・分煙ありがとう店」の登録店舗の周知や「たばこの煙困りましたカード」の利用促進を図り，飲食店等での受動喫煙防止に向けた対策を推進します。また，公共機関における全面敷地内禁煙の周知徹底を図るとともに，職域と連携し，禁煙，受動喫煙の防止に向けた情報発信を進めます。

また，健康目標の達成に向け，各事業において今後の取り組みを次のとおり推進します。実施にあたっては関係機関，関係団体等と連携し，適切な役割分担のもとに効果的な推進体制の構築を図ります。

＜推進に係る主な事業＞

事業名 【担当部署】	主なライフ ステージ	事業概要	
		目標達成に向けた今後の主な取り組み	
タバコ対策 【地域健康づくり課】	全年代	<ul style="list-style-type: none"> ・健康への影響が大きい“子ども”に焦点を置き，柏ノースモツ子作戦として4つの柱に沿って事業を展開。 【喫煙，受動喫煙が健康に及ぼす影響に関する知識の普及】 小中学校への出張講座/ノースモツ子新聞の掲示 【受動喫煙の防止】 「禁煙分煙ありがとう店」登録制度 「たばこの煙困りましたカード」の設置 【禁煙サポートの体制づくり】 禁煙外来，禁煙支援薬局の周知 【子ども，妊産婦の喫煙防止】 啓発リーフレット配布（母子保健事業，幼稚園，保育園等） 	柏市医師会，柏歯科医師会，柏市薬剤師会，タバコ問題を考える会・千葉，学校，PTA，私立幼稚園協会，柏商工会議所，主任児童委員，柏市民健康づくり推進員
		<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関，庁内関係部署による「柏ノースモツ子作戦協議会」を開催し，タバコ対策に関する協議を実施。 	
		関係機関と連携し，女性や妊婦の喫煙率低下に向けた啓発及び禁煙支援のための情報発信を強化する。 国の動向も踏まえ，引き続き受動喫煙防止対策を推進する。	

《 ライフステージ別の健康目標と取り組み 》

- 【健康課題】
- 喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する知識の普及
 - 受動喫煙の防止
 - 禁煙の支援
 - 未成年者の喫煙防止

	乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期
健康目標				喫煙率の減少（妊婦及びまわりの家族等含む）		
				喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する認識をもつ 成人の割合の増加		
	受動喫煙の機会を有する人の割合の減少					
				禁煙達成率の増加（妊婦含む）		
				成人の禁煙外来における保険適用に関する認知率の増加		
		未成年者の喫煙経験率の減少				
		未成年者の喫煙願望率の減少				
				未成年者の周囲で喫煙する大人の存在率の減少		
推進に係る 関連事業	啓発活動（母子保健事業等でのリーフレットの配布，イベントでの啓発，地域職域連携推進事業等）					
				禁煙外来・禁煙支援薬局の周知		
		小中学校への出張講座 ノースモツ子新聞の発行				
	「禁煙・分煙ありがとうございます店」登録制度 / 「たばこの煙困りましたカード」の設置					
			ばい捨て等防止事業			

【飲酒】

～ 目指すまちな姿 ～

多量飲酒による健康被害を防止するまち

(1) 健康目標値の達成状況

毎日飲酒する人の割合は改善傾向が見られますが、多量飲酒者の割合が増加するなど悪化した指標も多く、目標値の達成に向けて更なる努力が必要です。

全 16 指標 ◎:0 指標 ○:1 指標 △:2 指標 ×:6 指標 —:7 指標

<課題 1> 過度の飲酒が及ぼす健康影響及び適度な飲酒に関する知識の普及

指標		ベースライン (H23年度)	現状値 (H28年度)	目標値	評価	データ ソース
「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認識率	成人全体	—	26.6%	100%	—	A
	成人男性	—	31.0%	100%	—	A
	成人女性	—	23.2%	100%	—	A

<課題 2> 健康被害のリスクを高める飲酒習慣の防止

指標		ベースライン (H23年度)	現状値 (H28年度)	目標値	評価	データ ソース
毎日飲酒する人の割合	成人全体	22.5%	21.1%	15%	△	A
	成人男性	34.7%	34.5%	20%	△	A
	成人女性	11.8%	10.2%	10%	○	A
多量飲酒する人の割合	成人全体	9.4%	9.9%	6%	×	A
	成人男性	12.2%	12.6%	10%	×	A
	成人女性	4.2%	5.1%	3%	×	A
毎日飲酒・多量飲酒する人の割合	成人全体	5.0%	6.0%	4%	×	A
	成人男性	7.2%	7.8%	6%	×	A
	成人女性	1.8%	2.7%	1.5%	×	A
妊婦の飲酒率		—	1.8%	0%	—	B

<課題 3> 未成年者の飲酒防止

指標		ベースライン (H23年度)	現状値	目標値	評価	データ ソース
飲酒経験率	小学生(6年生)	—	16.6% (H29年度)	0%	—	C
	中学生(3年生)	—	14.6% (H29年度)	0%	—	C
	高校生(3年生)	—	16.2% (H28年度)	0%	—	D

～データソース(現状値)～

A: 柏市民健康意識調査(平成28年10月)

B: 平成28年度「健やか親子21(第2次)に基づくアンケート調査」

C: 柏市小中学生へのタバコに関するアンケート調査(平成29年7月)

D: 柏市健康増進計画に関するアンケート調査(平成28年9月)

(2) 指標の動きとこれまでの取り組み

《主な取り組み》

- ・アルコールに関する相談、支援
(アルコール相談、アルコールデイクエクラブ、酒害教室、アルコール家族教室、減酒プログラム)
- ・適正飲酒に関する啓発

- ◆ 「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認識率が低く、特に男女とも20～30代の若い年代ほど認識率が低い状況です。出前講座やイベント等での啓発に取り組んでいますが、若い世代への情報発信や啓発方法の工夫が必要と思われれます。
- ◆ アルコールに関する相談、支援を継続的に実施し、減酒プログラムも新たに開始していますが、「多量飲酒する人の割合」「毎日飲酒・多量飲酒する人の割合」は増加傾向が見られています。適正飲酒に関する啓発の強化に加え、必要に応じて適切な相談・支援につなげていく関係機関の連携の推進が必要です。
- ◆ 児童・生徒の飲酒経験率の改善に向け、学校における飲酒防止に関する健康教育の更なる推進や家庭、地域における見守りの強化が必要と考えられます。

(3) 今後の主な取り組み

- ◆ 過度の飲酒が及ぼす健康影響及び適度な飲酒に関する知識の普及に向け、保健事業や地域活動、各種イベントで、特に子育て中の保護者に向けた啓発を推進します。また、地域・職域連携推進協議会等を活用し、働く世代への情報発信に取り組みます。
- ◆ アルコールに関する相談、支援を引き続き実施するとともに、アルコール問題を抱える市民が、必要に応じ適切な相談支援につながるよう、関係機関への周知啓発を進めていきます。

また、健康目標の達成に向け、各事業において今後の取り組みを次のとおり推進します。実施にあたっては関係機関、関係団体等と連携し、適切な役割分担のもとに効果的な推進体制の構築を図ります。

《 推進に係る主な事業 》

事業名 【担当部署】	主なライフ ステージ	事業概要	主な連携機関 【関係機関、団体等】
		目標達成に向けた今後の主な取り組み	
本人・家族の 相談・訪問支援等 【保健予防課】	思春期 成年期 壮年期 高齢期	アルコール相談（精神科医師、職員による相談） アルコールデイケアクラブ（アルコール依存者を対象とした学習会 やミーティング等） アルコール家族教室（アルコール問題を抱える家族への講義、ミー ティング等） 酒害教室（アルコール依存者、家族対象のミーティング） HAPPYプログラム（適正飲酒のための減酒プログラム）	柏断酒新生会
		適正飲酒に関する啓発を進めるとともに、酒害や自助グルー プの効果を広く伝え、アルコール家族教室や酒害教室の参加 者の増加を図る。	

《 ライフステージ別の健康目標と取り組み 》

- 【健康課題】
- 過度の飲酒が及ぼす健康影響及び適度な飲酒に関する知識の普及
 - 健康被害のリスクを高める飲酒習慣の防止
 - 未成年者の飲酒防止

	乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期
健康目標				「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認識率の増加（成人）		
				毎日飲酒する人の割合の減少（成人）		
				多量飲酒する人の割合の減少（成人）		
				毎日飲酒・多量飲酒する人の割合の減少（成人）		
				妊婦の飲酒率の減少		
		未成年者の飲酒経験率の減少				
推進に係る 関連事業	啓発活動（イベントでの啓発，出前講座，地域職域連携推進事業等）					
				本人・家族の相談・訪問支援等 アルコール相談 / アルコールデイケアクラブ アルコール家族教室 / 酒害教室 / HAPPYプログラム		

【歯・口腔の健康】

～目指すまちな姿～

生涯を通じて自分の口で食べることができ
その人らしい生活ができるまち

(1) 健康目標値の達成状況

幼児・児童・生徒に係る指標は概ね改善傾向が見られていますが、進行した歯肉炎を有する成人の割合が増加しており、歯や口腔の状態に関する満足度もあまり改善が見られていません。目標値の達成に向けて、更なる努力が必要です。

全 12 指標 ◎:3 指標 ○:2 指標 △:2 指標 ×:3 指標 —:2 指標

<課題 1> 歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及

指標		ベースライン (H23年度)	現状値 (H28年度)	目標値	評価	データ ソース
3歳児でむし歯がない人の割合		78.6%	83.7%	90%以上	△	A
12歳児の DMF 歯数※		1.67 本	0.99 本	0.70 本	○	B
歯肉炎を有する（歯周疾患要観察者を含む）人の割合	小学生	18.0%	11.3%	15%	◎	B
	中学生	22.9%	16.4%	20%	◎	B
40歳で喪失歯のない人の割合		72.8%	75.2%	75%	◎	C
進行した歯肉炎（CPI 指数 3 以上）を有する人の割合	20歳	35.8%	—	25%	—	—
	30歳	42.3%	57.3%	25%	×	C
	40歳	56.6%	62.9%	25%	×	C
	50歳	58.5%	63.8%	25%	×	C
60歳代における咀嚼良好者の割合		—	76.3%	80%	—	D

※ベースライン値を修正

<課題 2> 定期的な歯科健康診査の受診勧奨

指標	ベースライン (H23年度)	現状値 (H28年度)	目標値	評価	データ ソース
過去 1 年間に歯科健康診査を受診した人の割合（成人）	56.4%	61.6%	65%	○	D

<課題3> 歯・口腔の健康づくりのための環境整備

指標	ベースライン (H23年度)	現状値 (H28年度)	目標値	評価	データ ソース
歯や口の状態に関する満足度 (成人)	24.2%	25.4%	50%以上	△	D

～データソース(現状値)～

- A: 3歳児健康診査(平成28年度)
- B: 児童生徒定期健康診断(平成28年度)
- C: 歯科保健業務実施報告(平成28年度)
- D: 柏市民健康意識調査(平成28年10月)

(2) 指標の動きとこれまでの取り組み

《主な取り組み》

- ・母子保健事業における歯、口腔の健康に関する啓発、相談
- ・2歳の歯☆ピカランド及びフッ化物歯面塗布事業
- ・歯周病検診
- ・特殊歯科診療事業支援事業
- ・幼稚園、保育園、小中学校での歯みがき指導
- ・かしわ歯科相談室
- ・フレイル予防事業

- ◆ 3歳児，小中学生に係る指標の改善については，フッ化物活用に関する啓発等，むし歯予防の強化を図ったことが要因のひとつと考えられます。
- ◆ 進行した歯肉炎を有する成人がいずれの年代でも（30歳，40歳，50歳）増加しており，若い世代からの歯周病予防の推進を図るため，職域や関係機関と連携した取り組みが必要と考えられます。

(3) 指標・目標値の見直し

中間評価において，次のとおり指標の見直しを行います。

《削除する指標》

指標	削除理由
進行した歯肉炎（CPI指数3以上）を有する人の割合 【20歳】	データソースとなる「歯周病検診」において，20歳が対象ではなくなったため

《ベースライン値を変更する指標》

指標	変更前	変更後	変更理由
12歳児のDMF指数	0.95本	1.67本	ベースライン値は11歳児の数であり，12歳児の数に修正するもの

(4) 今後の主な取り組み

- ◆ 乳幼児期からのむし歯予防を推進するため、フッ化物の積極的な利用を促し、誰もが平等に有効的なむし歯予防に取り組むことができる環境整備に努めます。
- ◆ 若い世代からの歯周病予防を推進するため、かかりつけ歯科医の推進をさらに強化し、定期的なプロフェッショナルケアの定着により、個々の口腔内の状況に合った口腔ケアを継続することで口腔機能の向上を目指します。
- ◆ 働く世代への働きかけとして、地域・職域連携推進協議会等を活用した職場における歯や口の健康づくりの普及啓発、事業連携等の推進を図ります。

また、健康目標の達成に向け、各事業において今後の取り組みを次のとおり推進します。実施にあたっては関係機関、関係団体等と連携し、適切な役割分担のもとに効果的な推進体制の構築を図ります。

《 推進に係る主な事業 》

事業名 【担当部署】	主なライフ ステージ	事業概要	主な連携機関 【関係機関，団体等】
		目標達成に向けた今後の主な取り組み	
2歳の歯☆ピカランド及びフッ化物歯面塗布事業 【地域健康づくり課】	乳幼児期 成年期	2歳代の親子を対象にむし歯予防の啓発や歯みがき指導の実施及び2.6歳を対象に医療機関でのフッ化物歯面塗布によるむし歯予防事業。	柏歯科医師会 柏市医師会
		フッ化物の効果的かつ積極的な活用の推進及び当事業をきっかけとしたかかりつけ歯科医の定着，その後の定期健診の継続実施。	
歯っぴいかみかみかしわっ子作戦！！ 【地域健康づくり課】	乳幼児期 学童期 成年期	乳幼児期から思春期を対象に食生活を含むむし歯予防及び歯周病予防の啓発や歯みがき指導の実施。	柏歯科医師会 幼稚園，保育園 小学校，中学校
		歯科保健に関する情報の積極的な発信及び各団体が主体的に口腔の健康づくりに取り組めるよう支援をしていく。	
歯周病検診 【地域健康づくり課】	成年期 壮年期	満30・40・50・60歳を対象に医療機関にて歯周ポケット測定等の歯周病検診の実施。	柏歯科医師会
		働く世代の歯周病予防を推進するために職域との連携及び母子保健における保護者世代に対する啓発の強化を図る。	
フレイル予防事業 【福祉活動推進課】	壮年期 高齢期	高齢者に対する「フレイル予防」として，口腔機能や嚥下をテーマとしたプログラムの実施。	柏歯科医師会，柏歯科介護支援センター，柏市在宅リハビリテーション連絡会，柏市地域包括支援センターなど
		介助予防の拠点施設のほか，市内全域に展開できるよう，地域包括支援センター主催の教室等での実施していく。	

事業名 【担当部署】	主なライフ ステージ	事業概要		主な連携機関 【関係機関，団体等】
		目標達成に向けた今後の主な取り組み		
訪問口腔衛生指導事業補助金 【地域医療推進課】	高齢期	訪問口腔衛生指導の実施及び地域包括支援センター等の従事者説明及び講演会の実施等への補助事業。	柏歯科医師会	
		特区歯科衛生士と歯科介護支援センターとの一本化による円滑な訪問口腔衛生指導の実施。		
特殊歯科診療事業支援事業 【地域医療推進課】	全年代	一般的な歯科診療が困難な障害児・者及び高齢者等に診療を行う特殊歯科診療所の運営への補助事業。	柏市医療公社 柏歯科医師会	
		関係部署及び機関と連携を図り，障害児・者が適切な医療を受けられるような体制づくりの推進。		

《 ライフステージ別の健康目標と取り組み 》

- 【健康課題】 ●歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及
 ●定期的な歯科健康診査の受診勧奨
 ●歯・口腔の健康づくりのための環境整備

	乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期
健康目標	3歳児でむし歯がない人の割合の増加					
		12歳児のDMF歯数の減少				
		歯肉炎を有する小中学生の割合の減少				
					40歳で喪失歯のない人の割合の増加	
				進行した歯肉炎を有する人の割合の減少 (30歳・40歳・50歳)		
					60歳代における咀嚼良好者の割合の増加	
				過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合の増加（成人）		
				歯や口の状態に関する満足度の増加（成人）		
推進に係る関連事業	2歳の歯☆ピカランドフッ化物歯面塗布					
	歯っぴいカムカムかしわっ子作戦！！ ～地域・幼稚園・保育園・小中学校でピカピカ編～					
		小中学校での歯科健康診断事業				
				歯周病検診		
					フレイル予防事業	
				お口のクリーニング事業 (柏市国民健康保険)		
	かしわ歯科相談室					
	啓発活動（子育て支援事業・イベントでの啓発，出前講座，地域職域連携推進事業等）					
	健康かむかむ運動補助金					
						訪問口腔衛生指導事業補助金
	特殊歯科診療事業支援事業					

【糖尿病】

～目指すまちな姿～

生活習慣を整えて，糖尿病の発症及び重症化を防ぐまち

(1) 健康目標値の達成状況

糖尿病の指摘を受けた人の割合は増加しており，さらに糖尿病の指摘を受けたが放置している人の割合も増加しているなど，半数以上の指標が悪化しています。特定健診受診率・特定保健指導実施率は上昇が見られるものの，目標値の達成に向けて更なる努力が必要です。

全 15 指標 ◎:1 指標 ○:0 指標 △:4 指標 ×:10 指標

<課題 1> 若い世代からの糖尿病の発症予防と重症化予防

指標		ベースライン (H23 年度)	現状値 (H28 年度)	目標値	評価	データ ソース	
糖尿病の指摘を受けた人の割合	30 歳代	1.1%	1.3%	維持又は減少	×	A	
	40 歳代	2.6%	3.4%	維持又は減少	×	A	
	50 歳代	6.7%	9.3%	維持又は減少	×	A	
	60 歳～74 歳	11.7% ※	14.7%	維持又は減少	×	A	
	75 歳～	14.3%	17.2%	維持又は減少	×	A	
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群該当者の割合(40 歳以上)	該当者	男性	23.1%	25.4% (H27 年度)	17%	×	B
		女性	7.5%	7.6% (H27 年度)	6%	×	B
	予備群該当者	男性	18.2%	17.3% (H27 年度)	14%	△	B
		女性	6.2%	6.0% (H27 年度)	5%	△	B
ヘモグロビン A1c が 6.1%(NGSP 値で 6.5%) 以上の人の割合		7.3%	7.7% (H27 年度)	6%	×	B	
じん臓機能障害による身体障害者手帳 1 級所持者数		706 人	799 人	維持又は減少	×	C	
糖尿病医療費 (柏市国民健康保険 1 月あたりの総点数)		8,447,642 点	7,940,217 点	減少	◎	D	

※ ベースライン値の算出方法を修正

～関連する各分野の指標～

「栄養・食生活」「身体活動・運動」「休養・こころの健康」「喫煙」「飲酒」「歯・口腔の健康」の各指標

<課題 2> 定期的な健康診査の受診

指標	ベースライン (H23年度)	現状値	目標値	評価	データ ソース
柏市国民健康保険特定健康診査の受診率（法定報告）	39.7%	42.0% (H27年度)	60.0%	△	B
柏市国民健康保険特定保健指導の実施率（法定報告）	14.2%	20.1% (H27年度)	45.0%	△	B
糖尿病の指摘を受けたが、放置している人の割合	7.3%	7.9% (H28年度)	減少	×	A

～データソース（現状値）～

A：柏市民健康意識調査（平成 28 年 10 月）

B：柏市国民健康保険特定健康診査，特定保健指導結果（平成 27 年度）

C：障害福祉課統計（平成 28 年度）

D：柏市国民健康保険病類別疾病統計（平成 28 年 5 月診療分）

(2) 指標の動きとこれまでの取り組み

《主な取り組み》

- ・特定健康診査、特定保健指導（柏市国民健康保険）
- ・柏市 75 歳以上の健康診査
- ・保健事業利用費助成事業【18 歳から 39 歳の健診】（柏市国民健康保険）
- ・柏市健康診査
- ・柏市地域栄養相談システム

《関連する取り組み》

「栄養・食生活」「身体活動・運動」「休養・こころの健康」「喫煙」「飲酒」「歯・口腔の健康」の各分野における取り組み

- ◆ 糖尿病の指摘を受けた人の割合が各年代で増加しており，男性のメタボリックシンドローム該当者及び成人男性の肥満の増加が影響している可能性があります。糖尿病の発症，重症化を予防するためには，バランスのよい食生活と適正体重の維持，運動習慣の定着，ストレスの解消，禁煙・受動喫煙の防止，適正飲酒，歯・口腔の健康の保持増進など，各分野の取り組みを推進していく必要があります。
- ◆ 特定健診受診率の改善については，特定健診とがん検診との同日実施や受診勧奨の推進等の受診率向上に向けた取り組みの成果によるものと考えられます。
- ◆ 特定保健指導実施率の改善については，実施方法の工夫や利用勧奨等の取り組みの成果によるものと考えられます。
- ◆ じん臓機能障害による身体障害者手帳 1 級所持者数は増加していますが，全国的に長期透析患者数が増加傾向にあることが要因のひとつと考えられます。糖尿病の重症化予防の指標としては，糖尿病の合併症である「糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数」をみていくことが，よりふさわしいと考えられます。

- ◆ 糖尿病医療費の減少が見られていますが、医療費は健康増進関連施策以外の影響を大きく受けるため、本指標での評価は難しいと考えられます。

(3) 指標・目標値の見直し

中間評価において、次のとおり指標の見直しを行います。

《ベースライン値を変更する指標》

指標	変更前	変更後	変更理由
糖尿病の指摘を受けた人の割合【60～74歳】	22.6%	11.7%	ベースライン値の算出方法が誤っていたため修正するもの

《新たに追加する指標》

指標	現状値 (H28年度)	目標値	追加理由
合併症（糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数）の減少 ※	49人	減少	健康日本21(第2次), 健康ちば21における指標設定に準じるもの

※ データソース：障害福祉課統計

《削除する指標》

指標	削除理由
じん臓機能障害による身体障害者手帳1級所持者数	「合併症（糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数）の減少」の追加に伴うもの
糖尿病医療費（柏市国民健康保険1月あたりの総点数）	医療費は健康増進関連施策以外の影響を大きく受けるため、本計画の評価指標として適切でないという分析によるもの

(4) 今後の主な取り組み

- ◆ 糖尿病の発症、重症化予防につながる健康的な生活習慣の実践に向け、生活習慣に係る各分野の取り組みを推進します。
- ◆ 特定健康診査等実施計画及び保健事業実施計画に基づき、特定健診受診率向上、特定保健指導実施率向上に引き続き取り組みます（柏市国民健康保険）。
- ◆ 生活習慣病等で治療中の市民が、適切な食事指導を受け食事療法が実践できるよう、柏市地域栄養相談システムの効果的な運用に向け、関係機関との協議、連携を推進します。
- ◆ 新規透析導入患者数の減少に向け、慢性腎臓病対策としてかかりつけ医と腎専門医による病診連携システムの体制整備を図ります。

また、健康目標の達成に向け、各事業において今後の取り組みを次のとおり推進します。また、実施にあたっては関係機関、関係団体等と連携し、適切な役割分担のもとに効果的な推進体制の構築を図ります。

《 推進に係る主な事業 》

事業名 【担当部署】	主なライフ ステージ	事業概要	主な連携機関 【関係機関、団体等】
		目標達成に向けた今後の主な取り組み	
柏市国民健康保険 特定健康診査 特定保健指導 【保険年金課】	壮年期 高齢期	メタボリックシンドロームに着目した健診、保健指導を実施し、糖尿病等の生活習慣病の発症、重症化を予防する。	柏市医師会、ちば県民保健予防財団、人間ドック・脳ドック実施医療機関、JA、千葉県厚生農業共同組合連合会、柏市沼南商工会、柏商工会議所
		健診受診率、保健指導実施率の向上に向け、対象者の特性にあわせた受診勧奨、利用勧奨を実施。	
柏市国民健康保険 保健事業利用費助成事業 【18歳から39歳の健診】 【保険年金課】	成年期	保健事業利用費助成事業として、18歳から39歳の国保加入の希望者に対し、特定健診と同様の健診を実施。	柏市医師会
		本事業の周知を進め受診者の増加を図る。 健診結果で生活習慣病のリスクのある対象者に対し、保健指導及び医療機関への受診勧奨を実施。	
柏市地域栄養 相談システム 【地域健康づくり課】	成年期 壮年期 高齢期	生活習慣病等で治療中の市民が、かかりつけ医の紹介により、市内の病院で管理栄養士の栄養指導が受けられるシステム。かかりつけ医での治療及び適切な食事療法を継続し、生活習慣病の重症化予防を図る。	柏市医師会 病院栄養士協議会（柏地区）
		当システムを必要な市民が利用できるよう、関係部署、関係機関と連携し引き続き周知を図る。	

《 ライフステージ別の健康目標と取り組み 》

- 【健康課題】 ●若い世代からの糖尿病の発症予防と重症化予防
●定期的な健康診査の受診

	乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期
健康目標				「糖尿病」の指摘を受けた人の割合の減少		
					メタボリックシンドロームの該当者及び予備群該当者の割合の減少（40歳以上）	
					ヘモグロビンA1cが6.1%（NGSP値6.5%）以上の人の割合の減少	
				合併症（糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数）の減少		
					特定健康診査受診率の増加（柏市国民健康保険）	
					特定保健指導実施率の増加（柏市国民健康保険）	
					「糖尿病」の指摘を受けたが、放置している人の割合の減少	
推進に係る関連事業	啓発活動（地域活動やイベントでの啓発，出前講座，地域職域連携推進事業等）					
				保健事業利用費助成事業【18歳から39歳の健診】（柏市国民健康保険）		
					特定健康診査・特定保健指導（柏市国民健康保険）	
						柏市75歳以上の健康診査
					柏市健康診査（無保険者）	
					柏市地域栄養相談システム	

【循環器疾患】

～ 目指すまちの姿 ～

生活習慣を整えて、循環器疾患の発症及び重症化を防ぐまち

(1) 健康目標値の達成状況

循環器疾患の指摘を受けた人の割合は一部の年代を除いて増加しており、循環器疾患のリスク因子である血圧，コレステロールが高い人の割合についても十分な改善が図られていない状況です。目標値の達成に向けて更なる努力が必要です。

全 23 指標 ◎ : 4 指標 ○ : 0 指標 △ : 10 指標 × : 9 指標

<課題 1> 若い世代からの循環器疾患の発症予防と重症化予防

指標		ベースライン (H23年度)	現状値 (H28年度)	目標値	評価	データ ソース
循環器疾患の指摘を受けた人の割合	30歳代	1.8%	2.7%	維持又は減少	×	A
	40歳代	6.3%	5.7%	維持又は減少	◎	A
	50歳代	12.4%	12.4%	維持又は減少	◎	A
	60歳～74歳	16.5%	20.7%	維持又は減少	×	A
	75歳～	22.3%	23.0%	維持又は減少	×	A
循環器疾患による死亡者数		794人	848人	730人	×	B
循環器疾患医療費 (柏市国民健康保険1月あたりの総点数)		39,027,763点	38,892,575点	減少	◎	C
LDLコレステロールが 140mg/dl以上の人の 割合(40歳以上)	全体	32.0%	33.6% (H27年度)	23%以下	×	D
	男性	26.2%	28.3% (H27年度)	20%以下	×	D
	女性	35.9%	37.2% (H27年度)	27%以下	×	D
収縮期血圧が140mmHg 以上の人の割合 (40歳以上)	全体	26.3%	24.4% (H27年度)	19%以下	△	D
	男性	30.2%	27.0% (H27年度)	22%以下	△	D
	女性	23.6%	22.6% (H27年度)	17%以下	△	D
拡張期血圧が90mmHg 以上の人の割合 (40歳以上)	全体	12.4%	11.8% (H27年度)	10%以下	△	D
	男性	16.4%	15.6% (H27年度)	13%以下	△	D
	女性	9.7%	9.3% (H27年度)	7%以下	△	D

指標		ベースライン (H23年度)	現状値 (H27年度)	目標値	評価	データ ソース	
【再掲】 メタボリックシンドロームの該当者及び予備群該当者の割合 (40歳以上)	該当者	男性	23.1%	25.4%	17%	×	D
		女性	7.5%	7.6%	6%	×	D
	予備群 該当者	男性	18.2%	17.3%	14%	△	D
		女性	6.2%	6.0%	5%	△	D

～関連する各分野の指標～

「栄養・食生活」「身体活動・運動」「休養・こころの健康」「喫煙」
「飲酒」「歯・口腔の健康」の各指標

<課題 2> 定期的な健康診査の受診

指標	ベースライン (H23年度)	現状値	目標値	評価	データ ソース
【再掲】 柏市国民健康保険特定健康診査の受診率（法定報告）	39.7%	42.0% (H27年度)	60.0%	△	D
【再掲】 柏市国民健康保険特定保健指導の実施率（法定報告）	14.2%	20.1% (H27年度)	45.0%	△	D
循環器疾患の指摘を受けたが、放置している人の割合	12.5%	10.0% (H28年度)	減少	◎	A

～データソース（現状値）～

A：柏市民健康意識調査（平成28年10月）

B：平成27年千葉県衛生統計年報

C：柏市国民健康保険病類別疾病統計（平成28年5月診療分）

D：柏市国民健康保険特定健康診査，特定保健指導結果（平成27年度）

(2) 指標の動きとこれまでの取り組み

≪主な取り組み≫

- ・ 特定健康診査、特定保健指導（柏市国民健康保険）
- ・ 柏市75歳以上の健康診査
- ・ 保健事業利用費助成事業【18歳から39歳の健診】（柏市国民健康保険）
- ・ 柏市健康診査
- ・ 柏市地域栄養相談システム

≪関連する取り組み≫

「栄養・食生活」「身体活動・運動」「休養・こころの健康」「喫煙」「飲酒」「歯・口腔の健康」の各分野における取り組み

※再掲指標に関しては前述の記載を参照

- ◆ 循環器疾患の指摘を受けた人の割合について、40～50代では維持または改善が見られていますが、他の年代では悪化の傾向が見られます。循環器疾患の発症、重症化を予防するためには、バランスのよい食生活と適正体重の維持、運動習慣の定着、ストレスの解消、禁煙・受動喫煙の防止、適正飲酒、歯・口腔の健康の保持増進など、各分野の取り組みを推進していく必要があります。
- ◆ 循環器疾患による死亡者数は増加していますが、これは「不整脈及び伝道障害」「心不全」の増加によるもので、「虚血性心疾患」「脳卒中」の死亡者数は低下しています。
- ◆ 循環器疾患医療費の減少が見られていますが、医療費は健康増進関連施策以外の影響を大きく受けるため、本指標での評価は難しいと考えられます。
- ◆ 循環器疾患の指摘を受けたが放置している人の割合について、疾患別に見ると脂質異常症の指摘を受けたが放置している人の割合が高くなっています。脂質異常症は自覚症状がないものの、放置することで動脈硬化が進行するため定期的な健診受診と医師の指示に沿った治療の継続の必要性について、引き続き伝えていくことが必要です。

(3) 指標・目標値の見直し

中間評価において、次のとおり指標の見直しを行います。

《新たに追加する指標》

指標		ベースライン (H23年度)	現状値 (H28年度)	目標値	追加の理由
脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	男性	34.6 (H22年度)	29.6 (H27年度)	減少	健康日本 21(第2次), 健康ちば 21における指標設定に準じるもの
	女性	25.5 (H22年度)	18.8 (H27年度)	減少	
虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	男性	40.8 (H22年度)	26.4 (H27年度)	減少	
	女性	12.3 (H22年度)	5.6 (H27年度)	減少	
脳卒中の指摘を受けた人の割合	30歳代	1.1%	1.3%	減少	「脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少」「虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少」の指標追加に伴い、「循環器疾患の指摘を受けた人の割合」としていたこれまでの指標を、疾患別に変更するもの
	40歳代	2.9%	1.0%		
	50歳代	1.7%	2.3%		
	60歳～74歳	5.9%	3.9%		
	75歳～	15.7%	11.5%		
心筋梗塞・狭心症の指摘を受けた人の割合	30歳代	0.4%	0.9%	減少	
	40歳代	2.2%	1.0%		
	50歳代	2.7%	3.1%		
	60歳～74歳	5.9%	8.2%		
	75歳～	12.9%	11.5%		

指標	ベースライン (H23年度)	現状値 (H28年度)	目標値	追加の理由
高血圧の指摘を受けたが放置している人の割合	8.5%	7.0%	減少	リスク因子である高血圧，脂質異常症に着目するもの
脂質異常症の指摘を受けたが放置している人の割合	25.4%	23.9%	減少	

＜削除する指標＞

指標	削除理由
循環器疾患による死亡者数	「脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少」「虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少」の指標追加に伴うもの
循環器疾患の指摘を受けた人の割合	「脳卒中の指摘を受けた人の割合」「虚血性心疾患の指摘を受けた人の」割合の指標追加に伴うもの
30歳代	
40歳代	
50歳代	
60歳～74歳	
75歳～	
循環器疾患医療費 (柏市国民健康保険1月あたりの総点数)	医療費は健康増進関連施策以外の影響を大きく受けるため，本計画の評価指標として適切でないという分析によるもの
循環器疾患の指摘を受けたが，放置している人の割合	「高血圧の指摘を受けたが放置している人の割合」「脂質異常症の指摘を受けたが放置している人の割合」の指標追加に伴うもの

(4) 今後の主な取り組み

- ◆ 循環器疾患の発症，重症化予防につながる健康的な生活習慣の実践に向け，生活習慣に係る各分野の取り組みを推進します。
- ◆ 特定健康診査等実施計画及び保健事業実施計画に基づき，特定健診受診率向上，特定保健指導実施率向上に引き続き取り組みます（柏市国民健康保険）。
- ◆ 生活習慣病等で治療中の市民が，適切な食事指導を受け食事療法が実践できるよう，柏市地域栄養相談システムの効果的な運用に向け，関係機関との協議，連携を推進します。

また，健康目標の達成に向け，各事業において今後の取り組みを次のとおり推進します。実施にあたっては関係機関，関係団体等と連携し，適切な役割分担のもとに効果的な推進体制の構築を図ります。

《 推進に係る主な事業 》

事業名 【担当部署】	主なライフ ステージ	事業概要		主な連携機関 【関係機関，団体等】
		目標達成に向けた今後の主な取り組み		
柏市国民健康保険 特定健康診査 特定保健指導 【保険年金課】	壮年期 高齢期	メタボリックシンドロームに着目した健診，保健指導を実施し，糖尿病等の生活習慣病の発症，重症化を予防する。	柏市医師会，ちば県民保健予防財団，人間ドック・脳ドック実施医療機関，ＪＡ，千葉県厚生農業共同組合連合会，柏市沼南商工会，柏商工会議所	
		健診受診率，保健指導実施率の向上に向け，対象者の特性にあわせた受診勧奨，利用勧奨を実施。		
柏市国民健康保険 保健事業利用費助成事業 【18歳から39歳の健診】 【保険年金課】	成年期	保健事業利用費助成事業として，18歳から39歳の国保加入の希望者に対し，特定健診と同様の健診を実施。	柏市医師会	
		本事業の周知を進め受診者の増加を図る。 健診結果で生活習慣病のリスクのある対象者に対し，保健指導及び医療機関への受診勧奨を実施。		
柏市地域栄養 相談システム 【地域健康づくり課】	成年期 壮年期 高齢期	生活習慣病等で治療中の市民が，かかりつけ医の紹介により，市内の病院で管理栄養士の栄養指導が受けられるシステム。かかりつけ医での治療及び適切な食事療法を継続し，生活習慣病の重症化予防を図る。	柏市医師会 病院栄養士協議会（柏地区）	
		当システムを必要な市民が利用できるよう，関係部署，関係機関と連携し引き続き周知を図る。		

《 ライフステージ別の健康目標と取り組み 》

- 【健康課題】 ●若い世代からの循環器疾患の発症予防と重症化予防
●定期的な健康診査の受診

	乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期	
健康目標				「脳卒中」「心筋梗塞・狭心症」の指摘を受けた人の割合の減少			
	脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少						
	虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少						
					LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合の減少（40歳以上）		
					収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合の減少（40歳以上）		
					拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合の減少（40歳以上）		
					メタボリックシンドロームの該当者及び予備群該当者の割合の減少（40歳以上）		
					特定健康診査受診率の増加（柏市国民健康保険）		
					特定保健指導実施率の増加（柏市国民健康保険）		
					「高血圧」「脂質異常症」の指摘を受けたが放置している人の割合の減少		
推進に係る関連事業	啓発活動（地域活動やイベントでの啓発，出前講座，地域職域連携推進事業等）						
				保健事業利用費助成事業【18歳から39歳の健診】（柏市国民健康保険）			
					特定健康診査・特定保健指導（柏市国民健康保険）		
							柏市75歳以上の健康診査
					柏市健康診査（無保険者）		
				柏市地域栄養相談システム			

【がん】

～目指すまちな姿～

生活習慣を整えて，がんの発症を防ぐまち
がんの早期発見・早期治療を促進するまち

(1) 健康目標値の達成状況

がん検診の受診率は，一部に改善が見られるものもありますが，全体的に低い状況です。

全6指標 △：2指標 ×：4指標

<課題1> がんの発症を防ぐための生活習慣等に関する知識の普及

指標	ベースライン (H22年度)	現状値 (H27年度)	目標値	評価	データ ソース
がんによる死亡者数	946人	953人	880人	×	A

～関連する各分野の指標～

「栄養・食生活」「身体活動・運動」「休養・こころの健康」「喫煙」
「飲酒」「歯・口腔の健康」の各指標

<課題2> がん検診の受診

指標	ベースライン (H23年度)	現状値 (H28年度)	目標値	評価	データ ソース	
がん検診受診率	胃がん	12.4%	9.3%	50%	×	B
	大腸がん	19.5%	18.1%	50%	×	B
	子宮頸がん	22.3%	28.4%	50%	△	B
	乳がん	28.4%	30.7%	50%	△	B
	結核・肺がん	16.4%	16.0%	50%	×	B

～データソース(現状値)～

A：平成27年千葉県衛生統計年報

B：柏市保健所年報（平成28年度）

(2) 指標の動きとこれまでの取り組み

《主な取り組み》

- ・がん検診，新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業
- ・がん予防の普及啓発
- ・がん対策検討会議

《関連する取り組み》

「栄養・食生活」「身体活動・運動」「休養・こころの健康」「喫煙」「飲酒」「歯・口腔の健康」の各分野における取り組み

- ◆ 子宮がん検診の受診率に改善がみられるのは，若い世代への普及啓発活動を推進した成果が要因のひとつと考えられます。しかし他のがん検診受診率については，あまり改善がみられておらず，引き続き必要な対象者ががん検診の受診につながるような受診勧奨や，検診を受診しやすい体制整備に取り組む必要があります。

(3) 指標・目標値の見直し

中間評価において，次のとおり指標の見直しを行います。

《新たに追加する指標》

指標	ベースライン (H22年度)	現状値 (H27年度)	目標値	追加理由
75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	73.7	69.9	減少	健康日本 21(第2次)，健康ちば 21における指標設定に準じるもの

《削除する指標》

指標	削除理由
がんによる死亡者数	「75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少」の指標追加に伴うもの

(4) 今後の主な取り組み

- ◆ がん予防につながる健康的な生活習慣の実践に向け，生活習慣に係る各分野の取り組みを推進します。
- ◆ 民間企業や学校等と連携しがん予防の啓発活動に取り組めます。
- ◆ がん対策検討会議による関係機関間の情報共有を進め，がんになっても安心して暮らせるよう，相談窓口や患者会など地域における支援に関する情報提供を行います。

また、健康目標の達成に向け、各事業において今後の取り組みを次のとおり推進します。実施にあたっては関係機関、関係団体等と連携し、適切な役割分担のもとに効果的な推進体制の構築を図ります。

《 推進に係る主な事業 》

事業名 【担当部署】	主なライフ ステージ	事業概要	主な連携機関 【関係機関、団体等】
		目標達成に向けた今後の主な取り組み	
がん検診 【成人健診課】	成年期 壮年期 高齢期	国の指針に沿って胃、大腸、結核・肺、乳、子宮の各がん検診を実施。	柏市医師会 ちば県民保健予防財団 柏市医療センター
		国の動向を踏まえ、効果的かつ効率的な検診の体制整備を進めていく。	
新たなステージ に入ったがん検診 総合支援事業 (無料検診) 【成人健診課】	成年期 壮年期	特定年齢の対象者に無料クーポン、検診手帳を発行し、該当するがん検診を無料で受診できるもの。	柏市医師会 ちば県民保健予防財団 柏市医療センター
		国の動向にあわせ、継続的に実施。	

《 ライフステージ別の健康目標と取り組み 》

- 【健康課題】 ●がんの発症を防ぐための生活習慣等に関する知識の普及
●がん検診の受診

	乳幼児期	学童期	思春期	成年期	壮年期	高齢期
健康目標	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少					
					胃がん検診受診率の増加	
					大腸がん検診受診率の増加	
				子宮がん検診受診率の増加		
				乳がん検診受診率の増加		
					結核・肺がん検診受診率の増加	
推進に係る 関連事業	啓発活動（地域活動やイベントでの啓発，出前講座，地域職域連携推進事業等）					
				がん検診		
				新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業		
	がん対策（がん対策検討会議等）					

第4章 計画の推進体制

健康づくりは市民一人ひとりが関心を持ち、主体的に取り組む必要がありますが、同時に市民が健康づくりに取り組みやすい環境を整備することが必要です。家庭，学校，職場，地域などの市民が生活する様々な場において，地域団体，教育関係機関，企業・事業所，保健医療関係機関，行政機関等が連携し，市民の健康づくりを支援していくことが求められます。

1 各推進主体に期待される役割

(1) 市民・家庭の役割

- ◆ 市民一人ひとりが健康づくりの主役であり，個々の状態に応じた心身の健康づくりに主体的に取り組むことが大切です。健康づくりに関心を持ち，自分自身の生活の質の向上に向けて，健康的な生活習慣を身に付けていく必要があります。
- ◆ 家庭は食習慣などの基本的な生活習慣を形成する場であり，特に子どもにとっては心身の健康を育む生活習慣の基礎をつくる中心となる重要な役割があります。大人は，自身の行動が共に生活する家族に影響を与えることを認識することが必要です。また，家庭は休養や心の安定を得る場としての機能を果たすことが期待されます。

(2) 地域の役割

- ◆ 町会自治会等の団体，民生児童委員，柏市民健康づくり推進員，柏市スポーツ推進委員，PTAなどは，地域における健康づくりの推進役として，行政や学校等と連携し，地域の健康課題の解決に向けて自主的かつ積極的な活動を展開することが期待されます。
- ◆ 各団体の活動等を通して，地域における人と人とのつながりを広めることは，心身の健康づくりを地域で支えることにつながります。

(3) 保育園、幼稚園、学校等の役割

- ◆ 保育園や幼稚園，学校等は，子どもたち自身が将来にわたって心身の健康を保持・増進できるよう，家庭や地域とも連携し，発達段階に応じた働きかけを行うことが求められます。

(4) 企業・事業所等の役割

- ◆ 主に青年期と壮年期にあたる働く世代にとって、職場は多くの時間を過ごす生活の中心であり、心身の健康と密接に関係しています。
- ◆ 健康診断や事後指導の徹底、健康情報の提供等、従業員の健康管理に努めるとともに、ワークライフバランスの推進やストレスチェックの分析に基づく職場環境の改善、受動喫煙防止対策等を進め、心身ともに健康的に働くことのできる職場づくりを目指すことが必要です。
- ◆ 従業員の健康管理の効果的な推進に向け、保険者や地域と連携した取り組みが求められます。

(5) 保健医療関係者、関係機関、団体等の役割

- ◆ 医師、歯科医師、薬剤師、助産師、栄養士、歯科衛生士等の保健医療関係者や医療、福祉、栄養、運動等に係る機関・団体は、その専門性を活かし、関係機関と連携して健康に関する情報提供や相談支援の実施等、市民の健康の保持増進に積極的に協力していくことが求められます。

(6) 行政の役割

- ◆ 行政は市民生活に密着する様々な事業、市民サービスを実施しています。健康づくり関連部門に留まらず、幅広い部署間での情報共有、連携を進め、市民の健康づくりを支援します。
- ◆ 関係者それぞれに期待される役割が果たせるよう、関係機関との調整、連携を進め、市民の健康づくりを計画的かつ効果的に推進していくための体制整備を図ります。

2 相互連携の体制整備，取り組み

地域全体で市民の主体的な健康づくりを支援するため，各推進主体の相互連携・協力体制を構築し，健康目標の達成に向けた実効性のある効果的な取り組みを目指します。

《相互連携のための組織，取り組み（抜粋）》

◆ 柏ノースモッ子作戦

保健医療関係機関，学校関係者，PTA，市民団体，行政等による協議会を設置。健康への影響が大きい「子ども」に焦点をおいたタバコ対策を連携して推進します。

◆ 柏地域・職域連携推進事業

職域保健関係機関，保健医療団体，行政による柏地域・職域連携推進協議会を設置。働く世代の健康づくりの推進に向け，情報や課題の共有，連携事業の実施等，地域と職域が連携した取り組みを推進します。

◆ 柏フレイル予防プロジェクト 2025

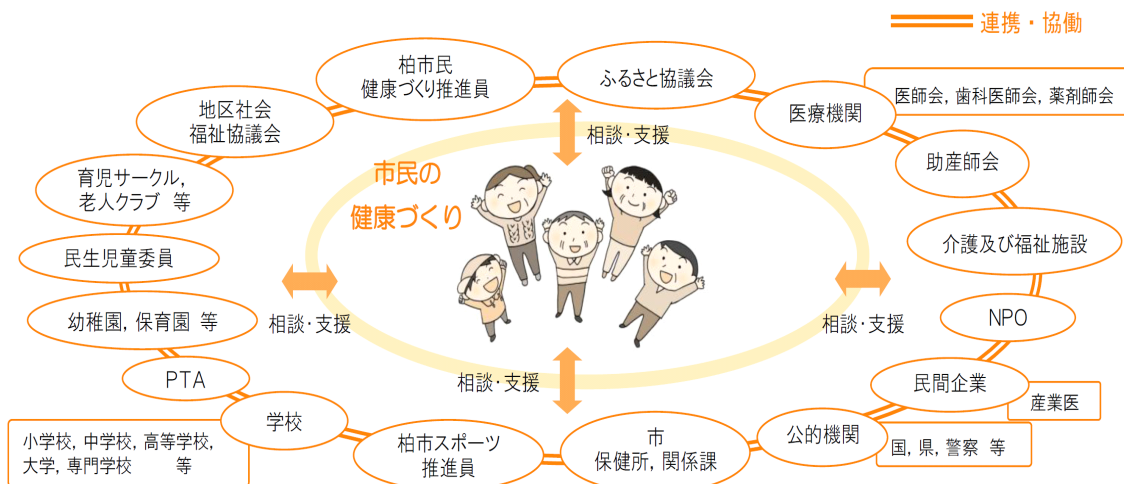
「フレイル（虚弱）」という概念を軸に，市民，関係団体，学識経験者等による推進委員会を設置。健康づくり事業の効果的な運動と地域を基盤とした市民主体の活動を推進します。

◆ 自殺予防対策連絡会議

自殺者の減少に向け，職域関係機関，警察，保健医療関係機関等の関係機関との連絡会議を行い，情報共有，対策の検討を進めます。

◆ がん対策会議

「柏市がん対策基本条例」に基づき，がん対策の効果的な推進に向け，保健医療関係機関等との連携した取り組みについて協議します。



資料編

健康目標値一覧（改定）

分野	指 標		ベースライン値 (H23年度)	目 標 値 (H34年度)	データソース	
基本 目標	1	健康寿命	男性	79.40歳	平均寿命の 増加分を上 回る健康寿 命の増加	健康寿命の算定方法 の指針(平成24年度厚 生労働科学研究費補 助金による「健康寿命 における将来予測と 生活習慣病対策の費 用対効果に関する研 究」)により算定
	2		女性	83.67歳		
栄 養 ・ 食 生 活	課題1 適正体重を維持するための知識の普及					
	3	成人女性のやせの割合(20歳代) 【BMI18.5未満】		27.4%	20%以下	柏市民健康 意識調査
	4	成人男性の肥満の割合 【BMI25以上】		23.1%	20%以下	
	5	児童・生徒の肥満の割合 【標準体重の+20%以上】	小学生	6.2%	減少	児童生徒定期 健康診断
	6		中学生	7.8%	減少	
	7	体重の変化を気にしている人 の割合	成人男性	54.7%	80%以上	柏市民健康 意識調査
	8		成人女性	67.1%		
	課題2 野菜の摂取量の増加					
	9	緑黄色野菜を毎日2回以上食べる人の割合 (成人)		17.1%	20%以上	柏市民健康 意識調査
	10	緑黄色野菜をほとんど 食べない人の割合	20歳代	12.7%	10%以下	
	11		30歳代	7.2%	5%以下	
	12	淡色野菜を毎日2回以上食べる人の割合 (成人)		21.9%	30%以上	
	課題3 朝食を意識した、バランスのよい食生活の普及					
	13	朝食の欠食率	20歳代	19.9%	15%以下	柏市民健康 意識調査
	14		30歳代	15.6%	15%以下	
	15	食事のバランスのよい人の 割合(成人)	朝食	48.4%	60%以上	
16	昼食		55.6%	65%以上		
身 体 活 動 ・ 運 動	課題1 運動習慣の定着					
	17	運動習慣者※の割合 ※1回30分以上の運動を週1日 以上実施し、1年以上継続して いる人	成人全体	46.4%	60%	柏市民健康 意識調査
	18		成人男性	49.2%	60%	
	19		成人女性	44.2%	60%	
20	20～59歳のほとんど運動していない人の 割合		53.8%	40%		

分野	指 標		ベースライン値 (H23年度)	目 標 値 (H34年度)	データソース		
身体活動・運動	課題2 身体活動・運動に取り組みやすい環境づくり						
	21	1日の歩行時間	成人全体	83.2分 (H28年度)	100分	柏市民健康意識調査	
	22		成人男性	78.7分 (H28年度)	100分		
	23		成人女性	86.1分 (H28年度)	100分		
	24	地域活動やボランティア活動への参加状況【60歳以上】		36.6% (H28年度)	増加	柏市まちづくり推進のための調査	
休養・こころの健康	課題1 睡眠等による十分な休養の確保						
	25	睡眠による休養を十分にとれていない人の割合	成人全体	49.7%	40%以下	柏市民健康意識調査	
	26		成人男性	47.4%	40%以下		
	27		成人女性	51.8%	40%以下		
	課題2 上手なストレス解消						
	28	ストレスを感じた人の割合	成人全体	77.2%	70%以下	柏市民健康意識調査	
	29		成人男性	71.1%	70%以下		
	30		成人女性	82.4%	70%以下		
	課題3 自殺予防対策						
	31	自殺者数	人数	70人	減少	千葉県衛生統計年報	
32	人口10万人当たり		17.3	減少			
喫煙	課題1 喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する知識の普及						
	33	喫煙率	成人全体	16.3%	12%以下	柏市民健康意識調査	
	34		成人男性	27.2%	20%以下		
	35		成人女性	6.5%	5%以下		
	36	妊婦	本人	1.3% (H27年度)	0%	健やか親子21(第2次)に基づくアンケート調査	
	37		まわりの家族等	38.3%	27%以下	妊娠届出書統計	
	38	喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する認識をもつ成人の割合	がん		90.2%	100%	柏市民健康意識調査
	39		喘息		78.0%		
	40		気管支炎		79.5%		
	41		COPD(慢性閉塞性肺疾患)		47.9%		
42	心臓病, 心筋梗塞		62.7%				
43	脳卒中, 脳梗塞		58.6%				

分野	指 標		ベースライン値 (H23年度)	目 標 値 (H34年度)	データソース	
喫煙	44	喫煙・受動喫煙が及ぼす健康影響に関する認識をもつ成人の割合	胃潰瘍	37.1%	100%	柏市民健康意識調査
	45		将来の不妊	43.5%		
	46		不妊, 異常妊娠, 低体重児出生	57.1%		
	47		歯周病, むし歯	33.2%		
	48		SIDS (乳幼児突然死症候群)	29.5%		
	49		子どもの身長及び知能の成長	46.6%		
	課題 2 受動喫煙の防止					
	50	受動喫煙の機会を有する人の割合	行政機関	7.9% (H28年度)	0%	柏市民健康意識調査
	51		医療機関	3.1% (H28年度)	0%	
	52		職場	30.1% (H28年度)	減少	
	53		家庭	15.7% (H28年度)	3%	
	54		飲食店	56.5% (H28年度)	15%	
	課題 3 禁煙の支援					
	55	禁煙達成率	成人全体	21.5%	27%以上	柏市民健康意識調査
	56		成人男性	33.7%	42%以上	
	57		成人女性	10.8%	14%以上	
	58		妊婦	84.9%	100%	妊娠届出書統計
	59	成人の禁煙外来における保険適用に関する認知率		38.0%	100%	柏市民健康意識調査
	課題 4 未成年者の喫煙防止					
	60	喫煙経験率	小学生 (6年生)	2.5%	0%	柏市小中学生へのタバコに関するアンケート調査
	61		中学生 (3年生)	7.1%		
	62		高校生 (3年生)	3.0% (H28年度)		
	63	喫煙願望率	小学生 (6年生)	3.8%	0%	柏市小中学生へのタバコに関するアンケート調査
	64		中学生 (3年生)	5.6%		
	65		高校生 (3年生)	3.1% (H28年度)		

分野	指 標		ベースライン値 (H23年度)	目 標 値 (H34年度)	データソース	
喫煙	66	周囲で喫煙する大人の存在率	小学生 (6年生)	64.0%	48%以下	柏市小中学生への タバコに関する アンケート調査
	67		中学生 (3年生)	64.7%	48%以下	
	68		高校生 (3年生)	51.0% (H28年度)	減少	柏市健康増進 計画に関する アンケート調査
課題1 過度の飲酒が及ぼす健康影響及び適度な飲酒に関する知識の普及						
飲酒	69	「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認識率	成人全体	26.6% (H28年度)	100%	柏市民健康 意識調査
	70		成人男性	31.0% (H28年度)	100%	
	71		成人女性	23.2% (H28年度)	100%	
	課題2 健康被害のリスクを高める飲酒習慣の防止					
	72	毎日飲酒する人の割合	成人全体	22.5%	15%	柏市民健康 意識調査
	73		成人男性	34.7%	20%	
	74		成人女性	11.8%	10%	
	75	多量飲酒する人の割合	成人全体	9.4%	6%	
	76		成人男性	12.2%	10%	
77	成人女性		4.2%	3%		
78	毎日飲酒・多量飲酒する人の割合	成人全体	5.0%	4%		
79		成人男性	7.2%	6%		
80		成人女性	1.8%	1.5%		
81	妊婦の飲酒率		1.8% (H27年度)	0%	健やか親子21 (第2次)に基づく アンケート調査	
課題3 未成年者の飲酒防止						
82	飲酒経験率	小学生 (6年生)	25.1% (H26年度)	0%	柏市小中学生への タバコに関する アンケート調査	
83		中学生 (3年生)	23.6% (H26年度)	0%		
84		高校生 (3年生)	16.2% (H28年度)	0%	柏市健康増進 計画に関する アンケート調査	

分野	指 標		ベースライン値 (H23年度)	目 標 値 (H34年度)	データソース		
歯・口腔の健康	課題1 歯・口腔の健康づくりに関する知識の普及						
	85	3歳児でむし歯がない人の割合		78.6%	90%以上	3歳児健康診査	
	86	12歳児の DMF 歯数		1.67	0.70	児童生徒定期健康診断	
	87	歯肉炎を有する（歯周疾患要観察者を含む）人の割合	小学生	18.0%	15%		
	88		中学生	22.9%	20%		
	89	40歳で喪失歯のない人の割合		72.8%	75%	歯科保健業務実施報告	
	90	進行した歯肉炎（CPI指数3以上）を有する人の割合	30歳	42.3%	25%		
	91		40歳	56.6%	25%		
	92		50歳	58.5%	25%		
	93	60歳代における咀嚼良好者の割合		76.3% (H28年度)	80%	柏市民健康意識調査	
	課題2 定期的な歯科健康診査の受診勧奨						
	94	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合（成人）		56.4%	65%	柏市民健康意識調査	
	課題3 歯・口腔の健康づくりのための環境整備						
	95	歯や口の状態に関する満足度（成人）		24.2%	50%以上	柏市民健康意識調査	
糖尿病	課題1 若い世代からの糖尿病の発症予防と重症化予防						
	96	糖尿病の指摘を受けた人の割合	30歳代	1.1%	維持又は減少	柏市民健康意識調査	
	97		40歳代	2.6%	維持又は減少		
	98		50歳代	6.7%	維持又は減少		
	99		60歳～74歳	11.7%	維持又は減少		
	100		75歳～	14.3%	維持又は減少		
	101	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群該当者の割合（40歳以上）	該 当 者	男性	23.1%	17%	柏市国民健康保険特定健康診査
	102			女性	7.5%	6%	
	103		該 予 備 者 群	男性	18.2%	14%	
	104			女性	6.2%	5%	
105	ヘモグロビン A1c が6.1%（NGSP 値で6.5%）以上の人の割合		7.3%	6%			
106	合併症（糖尿病性腎症による年間新規透析導入患者数）の減少		49人 (H28年度)	減少	障害福祉課統計		

分野	指標	ベースライン値 (H23年度)	目標値 (H34年度)	データソース		
糖尿病	課題2 定期的な健康診査の受診					
	107	柏市国民健康保険特定健康診査の受診率 (法定報告)	39.7%	60.0%	柏市国民健康保険特定健康診査 及び特定保健指導 (法定報告)	
	108	柏市国民健康保険特定保健指導の実施率 (法定報告)	14.2%	45.0%		
	109	糖尿病の指摘を受けたが、放置している人の割合	7.3%	減少	柏市民健康意識調査	
循環器疾患	課題1 若い世代からの循環器疾患の発症予防と重症化予防					
	110	脳卒中の指摘を受けた人の割合	30歳代	1.1%	減少	柏市民健康意識調査
	111		40歳代	2.9%	減少	
	112		50歳代	1.7%	減少	
	113		60歳～74歳	5.9%	減少	
	114		75歳～	15.7%	減少	
	115	心筋梗塞・狭心症の指摘を受けた人の割合	30歳代	0.4%	減少	
	116		40歳代	2.2%	減少	
	117		50歳代	2.7%	減少	
	118		60歳～74歳	5.9%	減少	
	119		75歳～	12.9%	減少	
	120	脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	男性	34.6 (H22年度)	減少	人口動態統計より直接法で算出
	121		女性	25.5 (H22年度)	減少	
	122	虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	男性	40.8 (H22年度)	減少	
	123		女性	12.3 (H22年度)	減少	
	124	LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合 (40歳以上)	全体	32.0%	23%以下	柏市国民健康保険特定健康診査
	125		男性	26.2%	20%以下	
	126		女性	35.9%	27%以下	
127	収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合 (40歳以上)	全体	26.3%	19%以下		
128		男性	30.2%	22%以下		
129		女性	23.6%	17%以下		
130	拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合 (40歳以上)	全体	12.4%	10%以下		
131		男性	16.4%	13%以下		
132		女性	9.7%	7%以下		

分野	指標			ベースライン値 (H23年度)	目標値 (H34年度)	データソース	
	133	【再掲】 メタボリックシンドロームの該当者及び予備群該当者の割合 (40歳以上)	該当者	男性	23.1%	17%	柏市国民健康保険 特定健康診査
	134			女性	7.5%	6%	
	135		該当予備群	男性	18.2%	14%	
	136			女性	6.2%	5%	
循環器疾患	課題2 定期的な健康診査の受診						
	137	【再掲】 柏市国民健康保険特定健康診査の受診率 (法定報告)		39.7%	60.0%	柏市国民健康保険 特定健康診査 及び特定保健指導 (法定報告)	
	138	【再掲】 柏市国民健康保険特定保健指導の実施率 (法定報告)		14.2%	45.0%		
	139	高血圧の指摘を受けたが放置 している人の割合		8.5%	減少	柏市民健康 意識調査	
	140	脂質異常症の指摘を受けたが 放置している人の割合		25.4%	減少		
がん	課題1 がんの発症を防ぐための生活習慣等に関する知識の普及						
	141	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)		73.7 (H22年度)	減少	人口動態統計より 直接法で算出	
	課題2 がん検診の受診						
	142	がん検診受診率	胃がん	12.4%	50%	柏市保健所年報	
	143		大腸がん	19.5%	50%		
	144		子宮がん	22.3%	50%		
145	乳がん		28.4%	50%			
146	結核・肺がん		16.4%	50%			

健康目標値達成状況一覧

達成状況：◎目標達成、○改善(達成率50%以上)、△改善傾向横ばい(達成率49%~0%)、×悪化傾向、－判定できない

分野	指標		ベースライン値					現状値	達成状況	目標値 (H34)	現状値出典		
			H23	H24	H25	H26	H27	H28					
栄養・食生活	1	成人女性のやせの割合	20歳代	27.4%	－	－	－	－	21.5%	○	20%以下	H28 柏市民健康意識調査	
	2	成人男性の肥満の割合		23.1%	－	－	－	－	26.2%	×	20%以下		
	3	児童・生徒の肥満の割合	小学生	6.2%	6.9%	6.7%	6.7%	6.5%	6.9%	×	4%以下	H28 児童生徒定期健康診断	
	4		中学生	7.8%	7.2%	7.5%	7.9%	7.1%	7.2%	△	5%以下		
	5	体重の変化を気にしている人の割合	成人男性	54.7%	－	－	－	－	61.8%	△	80%以上	H28 柏市民健康意識調査	
	6		成人女性	67.1%	－	－	－	－	70.7%	△			
	7	緑黄色野菜を毎日2回以上食べる人の割合(成人)			17.1%	－	－	－	－	17.6%	△		20%以上
	8	緑黄色野菜をほとんど食べない人の割合	20歳代	12.7%	－	－	－	－	19.2%	×	10%以下		
	9		30歳代	7.2%	－	－	－	－	10.2%	×	5%以下		
	10	淡色野菜を毎日2回以上食べる人の割合(成人)			21.9%	－	－	－	－	23.0%	△		30%以上
	11	朝食の欠食率	20歳代	19.9%	－	－	－	－	18.3%	△	15%以下		
	12		30歳代	15.6%	－	－	－	－	14.2%	◎	15%以下		
	13	食事のバランスのよい人の割合(成人)	朝食	48.4%	－	－	－	－	53.6%	△	60%以上		
	14		昼食	55.6%	－	－	－	－	63.3%	○	65%以上		
身体活動・運動	15	運動習慣者の割合	成人全体	46.4%	－	－	－	－	46.8%	△	60%		H28 柏市民健康意識調査
	16		成人男性	49.2%	－	－	－	－	50.0%	△	60%		
	17		成人女性	44.2%	－	－	－	－	44.1%	×	60%		
	18	20～59歳のほとんど運動していない人の割合			53.8%	－	－	－	－	52.8%	△		
	19	1日の歩行時間	成人全体	－	－	－	－	－	83.2分	－	100分		
	20		成人男性	－	－	－	－	－	78.7分	－	100分		
	21		成人女性	－	－	－	－	－	86.1分	－	100分		
22	地域活動やボランティア活動への参加意識			60.2% (H21年度)	59.1%	－	57.7%	－	－	80%	(H26まで 柏市民意識調査)		
休養・こころの健康	23	睡眠による休養を十分にとれていない人の割合	成人全体	49.7%	－	－	－	－	54.8%	×	40%以下	H28 柏市民健康意識調査	
	24		成人男性	47.4%	－	－	－	－	52.8%	×	40%以下		
	25		成人女性	51.8%	－	－	－	－	56.8%	×	40%以下		
	26	ストレスを感じた人の割合	成人全体	77.2%	－	－	－	－	71.2%	○	70%以下		
	27		成人男性	71.1%	－	－	－	－	63.6%	◎	70%以下		
	28		成人女性	82.4%	－	－	－	－	77.5%	△	70%以下		
	29	自殺者数	人数	70人	78人	73人	73人	68人	◎	減少	H27 千葉県衛生統計年報		
30	人口10万人当たり		17.3	19.3	18.0	17.9	16.4	◎	減少				
喫煙	31	喫煙率	成人全体	16.3%	－	－	－	－	14.0%	○	12%以下	H28 柏市民健康意識調査	
	32		成人男性	27.2%	－	－	－	－	22.0%	○	20%以下		
	33		成人女性	6.5%	－	－	－	－	7.5%	×	5%以下		
	34	妊婦	本人	2.9%	2.5%	2.5%	2.4%	2.3%	1.4%	○	0%	H28 妊娠届出書統計	
	35		まわりの家族等	38.3%	42.8%	41.5%	40.1%	40.8%	41.1%	×	27%以下		
	36	認識をもつ成人喫煙者が割合及ぼす健康影響に関する	がん	90.2%	－	－	－	－	90.8%	△	100%	H28 柏市民健康意識調査	
	37		喘息	78.0%	－	－	－	－	89.0%	○			
	38		気管支炎	79.5%	－	－	－	－	88.9%	△			
	39		COPD(慢性閉塞性肺疾患)	47.9%	－	－	－	－	63.3%	△			
	40		心臓病、心筋梗塞	62.7%	－	－	－	－	72.9%	△			
	41		脳卒中、脳梗塞	58.6%	－	－	－	－	69.4%	△			
	42		胃潰瘍	37.1%	－	－	－	－	43.7%	△			
	43		将来の不妊	43.5%	－	－	－	－	51.6%	△			
	44		不妊、異常妊娠、低体重児出生	57.1%	－	－	－	－	64.0%	△			
45	歯周病、むし歯		33.2%	－	－	－	－	45.0%	△				
46	SIDS(乳幼児突然死症候群)		29.5%	－	－	－	－	38.6%	△				
47	子どもの身長及び知能の成長		46.6%	－	－	－	－	53.7%	△				

分野	指標		ベースライン値					現状値	達成状況	目標値 (H34)	現状値出典		
			H23	H24	H25	H26	H27	H28					
喫煙	48	受動喫煙の機会を有する人の割合	行政機関	0%	—	—	—	—	7.9%	×	維持	H28 柏市民健康意識調査	
	49		医療機関	—	—	—	—	—	3.1%	—	0%		
	50		職場	—	—	—	—	—	30.1%	—	減少		
	51		家庭	—	—	—	—	—	15.7%	—	3%		
	52		飲食店	—	—	—	—	—	56.5%	—	15%		
	53	禁煙達成率	成人全体	21.5%	—	—	—	—	29.0%	◎	27%以上		
	54		成人男性	33.7%	—	—	—	—	46.6%	◎	42%以上		
	55		成人女性	10.8%	—	—	—	—	14.5%	◎	14%以上		
	56		妊婦	84.9%	85.4%	85.3%	85.5%	85.6%	88.1%	△	100%		H28 妊娠届出書
	57	成人の禁煙外来における保険適用に関する認知率			38.0%	—	—	—	—	48.3%	△	100%	H28 柏市民健康意識調査
	58	喫煙経験率	小学生(6年生)	2.5%	—	—	2.0%	—	0.8% (H29年度)	○	0%	H29 柏市小中学生へのタバコに関するアンケート調査	
	59		中学生(3年生)	7.1%	—	—	3.1%	—	1.5% (H29年度)	○			
	60		高校生(3年生)	—	—	—	—	—	3.0%	—			H28 柏市健康増進計画に関するアンケート調査
	61	喫煙願望率	小学生(6年生)	3.8%	—	—	2.6%	—	1.9% (H29年度)	○	0%	H29 柏市小中学生へのタバコに関するアンケート調査	
	62		中学生(3年生)	5.6%	—	—	2.8%	—	2.2% (H29年度)	○			
	63		高校生(3年生)	—	—	—	—	—	3.1%	—			H28 柏市健康増進計画に関するアンケート調査
64	周囲で喫煙する大人の存在率	小学生(6年生)	64.0%	—	—	62.7%	—	62.8% (H29年度)	△	48%以下	H29 柏市小中学生へのタバコに関するアンケート調査		
65		中学生(3年生)	64.7%	—	—	60.1%	—	58.1% (H29年度)	△	48%以下			
66		高校生(3年生)	—	—	—	—	—	51.0%	—	減少		H28 柏市健康増進計画に関するアンケート調査	
飲酒	67	「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」の認識率	成人全体	—	—	—	—	—	26.6%	—	100%	H28 柏市民健康意識調査	
	68		成人男性	—	—	—	—	—	31.0%	—	100%		
	69		成人女性	—	—	—	—	—	23.2%	—	100%		
	70	毎日飲酒する人の割合	成人全体	22.5%	—	—	—	—	21.1%	△	15%		
	71		成人男性	34.7%	—	—	—	—	34.5%	△	20%		
	72		成人女性	11.8%	—	—	—	—	10.2%	○	10%		
	73	多量飲酒する人の割合	成人全体	9.4%	—	—	—	—	9.9%	×	6%		
	74		成人男性	12.2%	—	—	—	—	12.6%	×	10%		
	75		成人女性	4.2%	—	—	—	—	5.1%	×	3%		
	76	毎日飲酒・多量飲酒する人の割合	成人全体	5.0%	—	—	—	—	6.0%	×	4%		
	77		成人男性	7.2%	—	—	—	—	7.8%	×	6%		
	78		成人女性	1.8%	—	—	—	—	2.7%	×	1.5%		
	79	妊婦の飲酒率			—	—	—	1.8%	1.8%	—	0%		H28年度 健やか親子21(第2次)に基づくアンケート調査
	80	飲酒経験率	小学生(6年生)	—	—	—	25.1%	—	16.6% (H29年度)	—	0%		H29 柏市小中学生へのタバコに関するアンケート調査
81	中学生(3年生)		—	—	—	23.6%	—	14.6% (H29年度)	—	0%			
82	高校生(3年生)		—	—	—	—	—	16.2%	—	0%	H28 柏市健康増進計画に関するアンケート調査		
歯・口腔の健康	83	3歳児でむし歯がない人の割合		78.6%	79.3%	82.7%	81.0%	80.5%	83.7%	△	90%以上	H28 3歳児健康診査	
	84	12歳児のDMF歯数		1.67本	1.49本	1.28本	1.19本	0.84本	0.99本	○	0.70本	H28 児童生徒定期健康診断	
	85	歯肉炎を有する(歯周疾患要観察者を含む)人の割合	小学生	18.0%	11.5%	12.0%	12.3%	12.1%	11.3%	◎	15%		
	86		中学生	22.9%	13.6%	15.2%	16.5%	15.2%	16.4%	◎	20%		
	87	40歳で喪失歯のない人の割合		72.8%	73.0%	74.9%	73.3%	72.3%	75.2%	◎	75%	H28 歯科保健業務実施報告	
	88	進行した歯肉炎(CPI指数3以上)を有する人の割合	20歳	35.8%	45.3%	—	—	—	—	—	25%		
	89		30歳	42.3%	51.5%	45.3%	55.4%	54.0%	57.3%	×	25%		
	90		40歳	56.6%	55.1%	53.6%	58.0%	60.1%	62.9%	×	25%		
	91		50歳	58.5%	57.6%	62.0%	70.3%	70.6%	63.8%	×	25%		
	92	60歳代における咀嚼良好者の割合		—	—	—	—	—	76.3%	—	80%		
	93	過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合(成人)		56.4%	—	—	—	—	61.6%	○	65%	H28 柏市民健康意識調査	
	94	歯や口の状態に関する満足度(成人)		24.2%	—	—	—	—	25.4%	△	50%以上		

分野	指標		ベースライン値					現況値	達成状況	目標値 (H34)	現況値出典	
			H23	H24	H25	H26	H27	H28				
糖尿病	95	糖尿病の指摘を受けた人の割合	30歳代	1.1%	—	—	—	—	1.3%	×	維持又は減少	H28 柏市民健康意識調査
	96		40歳代	2.6%	—	—	—	—	3.4%	×	維持又は減少	
	97		50歳代	6.7%	—	—	—	—	9.3%	×	維持又は減少	
	98		60歳～74歳	11.7%	—	—	—	—	14.7%	×	維持又は減少	
	99		75歳～	14.3%	—	—	—	—	17.2%	×	維持又は減少	
	100	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群該当者の割合(40歳以上)	該当者	男性	23.1%	23.6%	23.6%	24.2%	25.4%	×	17%	H27 柏市国民健康保険特定健康診査
	101			女性	7.5%	7.3%	7.2%	7.3%	7.6%	×	6%	
	102		予備群該当者	男性	18.2%	17.7%	17.5%	17.3%	17.3%	△	14%	
	103			女性	6.2%	5.9%	5.8%	6.1%	6.0%	△	5%	
	104	ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値で6.5%)以上の人の割合		7.3%	7.7%	7.2%	7.7%	7.7%	×	6%	H28 障害福祉課統計	
	105	じん臓機能障害による身体障害者手帳1級所持者数		706人	695人	709人	744人	772人	799人	×	維持又は減少	H28 障害福祉課統計
	106	糖尿病医療費(柏市国民健康保険 1月あたりの総点数)		8,447,642点	8,761,578点	8,060,982点	7,538,229点	7,166,456点	7,940,217点	◎	減少	H28 国保病類別疾病統計表
	107	柏市国民健康保険特定健康診査の受診率(法定報告)		39.7%	38.2%	40.0%	40.8%	42.0%	△	60.0%	H27 柏市国民健康保険特定健康診査及び特定保健指導法定報告	
108	柏市国民健康保険特定保健指導の実施率(法定報告)		14.2%	18.3%	18.9%	15.0%	20.1%	△	45.0%	H27 柏市国民健康保険特定健康診査及び特定保健指導法定報告		
109	糖尿病の指摘を受けたが、放置している人の割合		7.3%	—	—	—	—	7.9%	×	減少	H28 柏市民健康意識調査	
循環器疾患	110	循環器疾患の指摘を受けた人の割合	30歳代	1.8%	—	—	—	—	2.7%	×	維持又は減少	H28 柏市民健康意識調査
	111		40歳代	6.3%	—	—	—	—	5.7%	◎	維持又は減少	
	112		50歳代	12.4%	—	—	—	—	12.4%	◎	維持又は減少	
	113		60歳～74歳	16.5%	—	—	—	—	20.7%	×	維持又は減少	
	114		75歳～	22.3%	—	—	—	—	23.0%	×	維持又は減少	
	115	循環器疾患による死亡者数		794人	784人	776人	765人	848人	×	730人	H27 千葉県衛生統計年報	
	116	循環器疾患医療費(柏市国民健康保険 1月あたりの総点数)		39,027,763点	41,619,402点	38,221,743点	40,758,472点	41,668,404点	38,892,575点	◎	減少	H28 国保病類別疾病統計表
	117	LDLコレステロールが140mg/dl以上の人の割合(40歳以上)	全体	32.0%	31.9%	32.7%	33.3%	33.6%	×	23%以下	H27 柏市国民健康保険特定健康診査	
	118		男性	26.2%	26.2%	27.5%	27.5%	28.3%	×	20%以下		
	119		女性	35.9%	35.8%	36.2%	37.3%	37.2%	×	27%以下		
	120	収縮期血圧が140mmHg以上の人の割合(40歳以上)	全体	26.3%	24.2%	23.8%	24.0%	24.4%	△	19%以下		
	121		男性	30.2%	27.4%	26.8%	27.2%	27.0%	△	22%以下		
	122		女性	23.6%	21.9%	21.7%	21.8%	22.6%	△	17%以下		
	123	拡張期血圧が90mmHg以上の人の割合(40歳以上)	全体	12.4%	11.3%	11.5%	11.5%	11.8%	△	10%以下		
	124		男性	16.4%	15.5%	15.4%	15.8%	15.6%	△	13%以下		
	125		女性	9.7%	8.4%	8.9%	8.5%	9.3%	△	7%以下		
	126	【再掲】メタボリックシンドロームの該当者及び予備群該当者の割合(40歳以上)	該当者	男性	23.1%	23.6%	23.6%	24.2%	25.4%	×	17%	
127	女性			7.5%	7.3%	7.2%	7.3%	7.6%	×	6%		
128	予備群該当者		男性	18.2%	17.7%	17.5%	17.3%	17.3%	△	14%		
129			女性	6.2%	5.9%	5.8%	6.1%	6.0%	△	5%		
130	【再掲】柏市国民健康保険特定健康診査の受診率(法定報告)		39.7%	38.2%	40.0%	40.8%	42.0%	△	60.0%	H27 柏市国民健康保険特定健康診査及び特定保健指導法定報告		
131	【再掲】柏市国民健康保険特定保健指導の実施率(法定報告)		14.2%	18.3%	18.9%	15.0%	20.1%	△	45.0%	H27 柏市国民健康保険特定健康診査及び特定保健指導法定報告		
132	循環器疾患の指摘を受けたが、放置している人の割合		12.5%	—	—	—	—	10.0%	◎	減少	H28 柏市民健康意識調査	
がん	133	がんによる死亡者数		946人	941人	936人	920人	953人	×	880人	H27 千葉県衛生統計年報	
	134	がん検診受診率	胃がん	12.4%	11.9%	11.1%	10.3%	9.8%	9.3%	×	50%	H28 柏市保健所年報
	135		大腸がん	19.5%	19.3%	19.4%	18.6%	19.9%	18.1%	×	50%	
	136		子宮がん	22.3%	23.3%	20.5%	29.5%	26.3%	28.4%	△	50%	
	137		乳がん	28.4%	29.6%	28.3%	29.1%	29.4%	30.7%	△	50%	
138	結核・肺がん		16.4%	16.5%	16.0%	15.1%	15.8%	16.0%	×	50%		